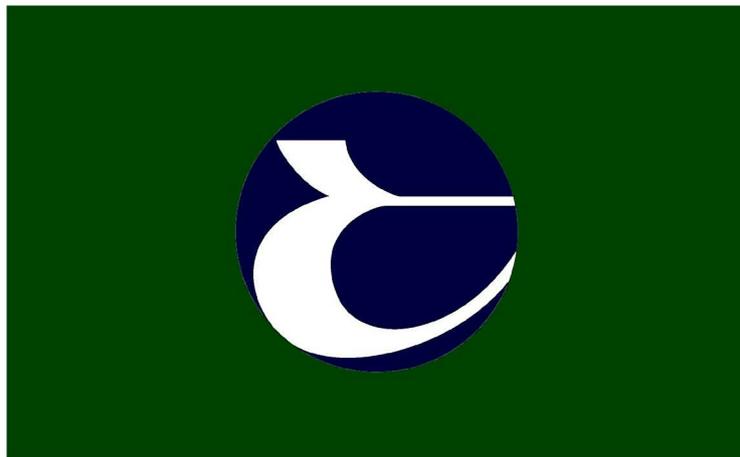


令和7年度

当別町の教育



当別町教育委員会

教育大綱

【経過】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体は、平成27年4月から教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下、大綱という。）を策定することとなった。

この改正をうけ、当別町では、平成27年と令和2年に大綱を作成し、令和7年3月に終期を迎えることから、令和6年度の総合教育会議において協議、調整を行い次期大綱を策定した。

この大綱に基づき、学校教育や社会教育のさらなる発展を図る。

【期間】

令和7年4月以降とする。それ以降、大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

【関連計画】

当別町総合計画

当別町教育大綱

当別町教育基本計画

各年度推進計画

【趣旨】

当別町の教育は、明治4年に仙台藩岩出山伊達家当主・伊達邦直公とその家臣が当別に入植して間もなく、家臣団の一人である鮎田如牛が、私塾を開いて移住者の子どもたちの教育を担ったことに始まります。

如牛は、自宅の傍に草小屋を建てて学舎とし、子どもたち数十名に読書、習字、数学を教えました。

これは学校制度が発布される数カ月前のことであり、困難な開拓当初にあっても「教育のことは1日もゆるがせにできない」として教育を重んじた強い意志の現れと言えます。

また、開拓時に考案されたと伝えられる当別村邑則は、開拓に向けた家臣一同の決意であるとともに、教育の方針を示すものでもありました。

町の未来を託す子どもたちの教育を何より重んじた精神は、現代まで脈々と引き継がれており、この理念を礎として、当別町の教育の総合的な施策の方針となる当別町教育大綱を策定します。（令和7年3月）

【当別町教育の基本理念】

- 1 強じんな精神とたくましい身体をつくる
- 2 科学的な知識や技能を身につける
- 3 豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
- 4 自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
- 5 明るく豊かで住みよい郷土をきずく

【当別町教育の基本方針】

学校教育

- 1 一人ひとりを生かす創意ある学校経営
- 2 自ら考え創造する力を育てる学習指導
- 3 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導
- 4 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育

- 1 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別をつくる人材の育成
- 2 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
- 3 健康な心身をつくり明るいまちをつくるスポーツの推進
- 4 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

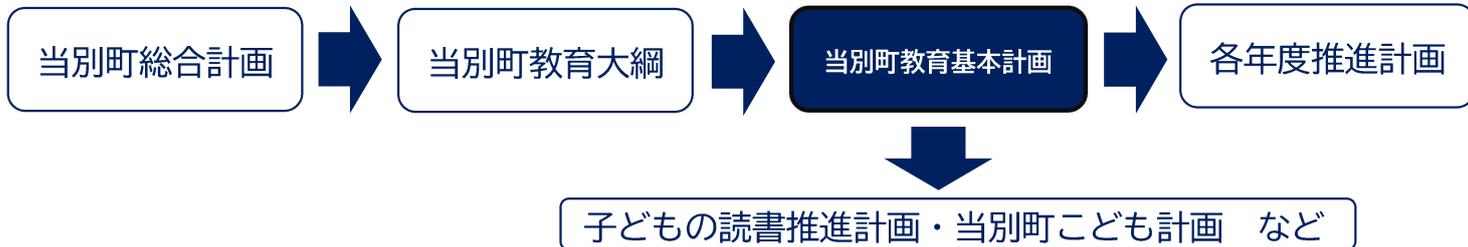
（書き下し文）
一、社を結んで学校を立つし、且、必読の書を蔵めん事を要す、現今旧主与ふ所の書籍を以て此に備ふ、後ら之れを補ふし、
一、男女五歳より学校に入れ、読書・習字及び数学等の業を授けし、若、
期年に及んで入れざるもの有らば、其父母を厳誅すへし、
一、入学の子弟朝六時より八時までは、朝粥飯後十時より十二時まで
習字、其後退散、暮六時を待ち学館に出て句読を受け九時に畢る、是
れ即今人皆昼間勤務有り教授するを得ず、故に夕学を施す、有志の者
自ら之に任ず、他日生産の道を得ば宜く之れを卒業へし、
一、十五、六歳に及て其才学を選み、本府大学校に入れて方今有用の学術
を学ばしむへし。

教育基本計画

【期間】

令和7年4月～令和12年3月

【関連計画】



【基本目標】

学校教育

1	確かな学力の育成	単なる知識の詰め込みではなく、子どもたちが社会に出てからも役立つ、より幅広い能力を育てます。そのために、学校教育において、社会の変化に対応できる力、自ら行動できる力の育成を図ります。
2	豊かな人間性の育成	心身ともに健やかに成長し、社会の一員として貢献できるような人間の育成を図ります。また、社会とのつながりを意識した学びにより、自らの夢を実現させるために必要な力を育みます。
3	健全な心身の育成	子どもたちが心身ともに健康で、社会の一員として主体的に生きていくために必要な基盤の育成を図ります。そのために、体力の向上、食育の推進、心の健康の増進など学校、家庭、地域社会が一体となった取り組みを進めます。
4	地域とともにある学校づくりの推進	学校が地域社会と密接に関わり合い、共に子どもたちの成長を支える教育活動の充実を図ります。そのために、地域社会の多様な資源を活用し、子どもたちが地域の一員としての自覚と責任感を育むことを目指します。
5	教育環境の充実	子どもたちが心身ともに健やかに成長し、学習意欲を高め、最大限の可能性を引き出すことができるようなより良い学習環境の充実を図ります。
	今後の事業展開	不登校支援における多様な学びの場の充実／デジタル教育の新たな展開／各学校校舎の整備／とべつ未来学の推進／とべっこランチをはじめとした地元食材の活用／文化・芸術の振興（感性を育てる教育）／子どもの体力向上

社会教育

1	生涯学習の推進	町民一人ひとりが意欲をもって主体的に学べるよう、様々な年代のニーズに応じた学習機会のさらなる充実や施設の機能強化など、学習環境の整備を推進します。
2	文化・芸術・スポーツの推進	文化・芸術・スポーツは、人々に潤いのある心豊かな生活をもたらす創造性や情操、幸福感（ウェルビーイング）を育むものであり、町民が生涯にわたって文化・芸術・スポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
3	歴史伝承と郷土愛の醸成	先人達の熱意と不屈の精神で開拓された当別町の歴史について理解を深め、郷土の素晴らしさを感じ、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成できるよう学習活動等を推進します。
4	地域の教育力の向上	地域と学校、家庭の連携によって、地域の力を生かした教育活動の実現を図り、地域住民と子どもたちとの触れ合いや学び合いを通して、その地域に住む一人ひとりが地域貢献の意識を高めることにより、地域全体の教育力の向上を図ります。
5	社会教育施設の充実	町民が安心、安全、快適に利用できるよう施設の改修や整備を計画的に進め、町民の多様なニーズに対応した社会教育の場として社会教育施設の充実を図ります。
	今後の事業展開	学校部活動地域展開の推進／社会教育施設の整備／文化・芸術の振興（感性を育てる教育）〔再掲〕／子どもの体力向上〔再掲〕

教育推進計画

令和7年度
当別町教育推進計画

「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育



令和7年度 重点目標 一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障

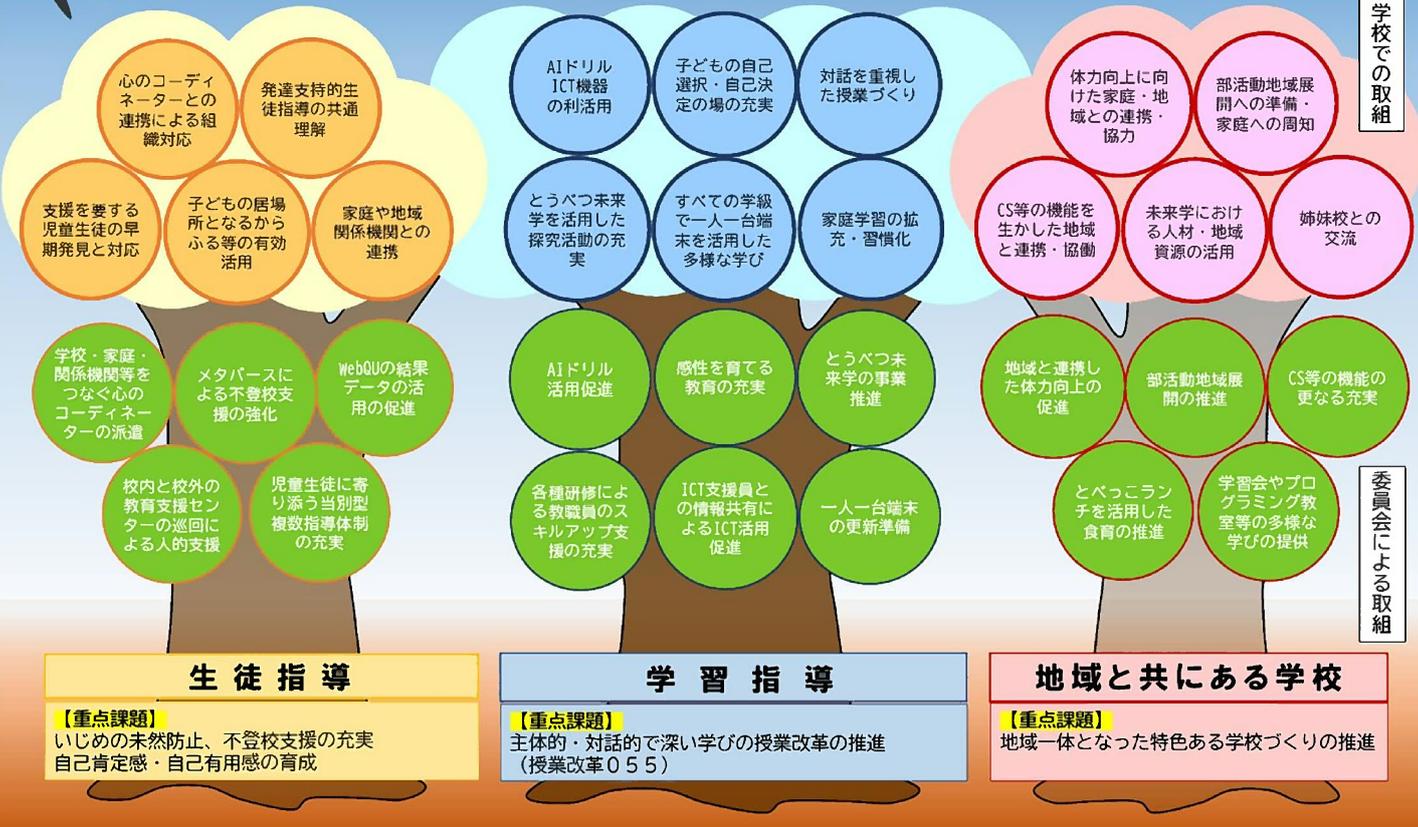
	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点課題	主体的・対話的で深い学びによる授業改革の推進(授業改革055)	いじめの未然防止、不登校支援の充実 自己肯定感・自己有用感の育成	地域一体となった特色ある学校づくりの推進
学校	<ul style="list-style-type: none"> □AIドリル、ICT機器の利活用 □子どもの自己選択・自己決定の場の充実 □対話を重視した授業づくり □とうべつ未来学を活用した探究活動の充実 □すべての学級で一人一台端末を活用した多様な学び □家庭学習の拡充・習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> □心のコーディネーターとの連携による組織対応 □全ての生徒の発達を支える生徒指導 □支援を要する児童生徒の早期発見と対応 □子どもの居場所となるからふる等の有効活用 □家庭や地域、関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> □体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力 □部活動地域展開への準備・家庭への周知 □CS等の機能を生かした地域と連携・協働 □未来学における人材・地域資源の活用 □姉妹校との交流
委員会	<ul style="list-style-type: none"> □AIドリル活用促進 □感性を育てる教育の充実 □とうべつ未来学の事業推進 □各種研修による教職員のスキルアップ支援の充実 □ICT支援員との情報共有によるICT活用の促進 □一人一台端末の更新準備 	<ul style="list-style-type: none"> □学校・家庭・関係機関等をつなぐ心のコーディネーターの派遣 □メタバースによる不登校支援の強化 □WebQUの結果データの活用の促進 □校内と校外の教育支援センターの巡回による人的支援 □児童生徒に寄り添う当別型複数指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> □地域と連携した体力向上の促進 □部活動地域展開の推進 □CS等の機能の更なる充実 □とべっこランチを活用した食育の推進 □学習会やプログラミング教室等の多様な学びの提供

令和7年度
当別町教育推進計画

「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育



令和7年度 重点目標 一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障



グランドデザイン

令和7年度 当別町の教育（グランドデザイン）

当別町のめざす子ども像

自らの未来を拓き やがては町の未来を拓く子ども

当別町教育の基本理念

- 1 強じんな精神とたくましい身体をつくる
- 2 科学的な知識や技能を身につける
- 3 豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
- 4 自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
- 5 明るく豊かで住みよい郷土をささぐ

当別町教育の基本方針

学校教育

- 1 一人ひとりを生かす創意ある学校経営
- 2 自ら考え創造する力を育てる学習指導
- 3 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導
- 4 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育

- 1 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別をつくる人材の育成
- 2 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
- 3 健康な心身をつくり明るいまちをつくるスポーツの推進
- 4 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

当別町総合計画

当別町教育大綱

当別町教育基本計画

各年度推進計画

今年度の最重点課題

- ① 不登校支援の充実
 - ・多様な学びの場の確保
 - ・校内外教育支援センター
 - ・メタバース（仮想空間）

【基本目標1】確かな学力の育成

【基本目標2】豊かな人間性の育成

【基本目標3】健全な心身の育成

【基本目標4】地域とともにある学校づくりの推進

【基本目標5】教育環境の充実

【基本目標1】生涯学習の推進

【基本目標2】文化・芸術・スポーツの推進

【基本目標3】歴史伝承と郷土愛の醸成

【基本目標4】地域の教育力の向上

【基本目標5】社会教育施設の充実

令和7年度
当別町教育推進計画

「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育

令和7年度 重点目標 一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障

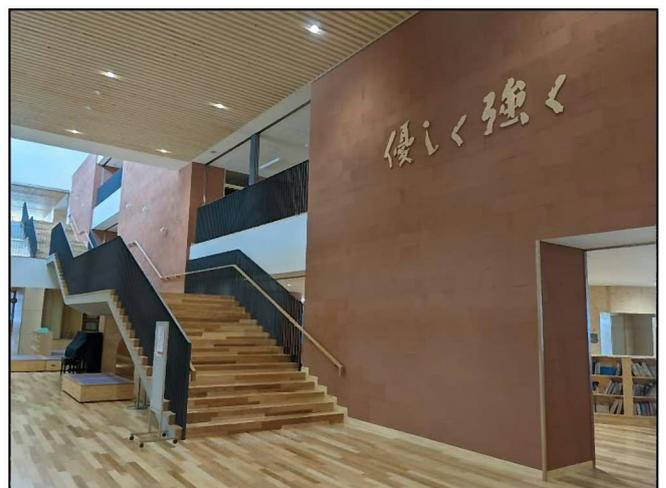
	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点課題	主体的・対話的で深い学びによる授業改革の推進（授業改革055）	いじめの未然防止、不登校支援の充実 自己肯定感・自己有用感の育成	地域一体となった特色ある学校づくりの推進
学校	<input type="checkbox"/> AIドリル、ICT機器の利活用 <input type="checkbox"/> 子どもの自己選択・自己決定の場の充実 <input type="checkbox"/> 対話を重視した授業づくり <input type="checkbox"/> どうべつ未来学を活用した探究活動の充実 <input type="checkbox"/> すべての学級で一人一台端末を活用した多様な学び <input type="checkbox"/> 家庭学習の拡充・習慣化	<input type="checkbox"/> 心のコーディネーターとの連携による組織対応 <input type="checkbox"/> 全ての生徒の発達を支える生徒指導 <input type="checkbox"/> 支援を要する児童生徒の早期発見と対応 <input type="checkbox"/> 子どもの居場所となるからふる等の有効活用 <input type="checkbox"/> 家庭や地域、関係機関との連携	<input type="checkbox"/> 体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力の推進 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開への準備・家庭への周知 <input type="checkbox"/> CS等の機能を生かした地域と連携・協働 <input type="checkbox"/> 未来学における人材・地域資源の活用 <input type="checkbox"/> 姉妹校との交流
委員会	<input type="checkbox"/> AIドリル活用促進 <input type="checkbox"/> 感性を育てる教育の充実 <input type="checkbox"/> どうべつ未来学の事業推進 <input type="checkbox"/> 各種研修による教職員のスキルアップ支援の充実 <input type="checkbox"/> ICT支援員との情報共有によるICT活用の促進 <input type="checkbox"/> 一人一台端末の更新準備	<input type="checkbox"/> 学校・家庭・関係機関等をつなぐ心のコーディネーターの派遣 <input type="checkbox"/> メタバースによる不登校支援の強化 <input type="checkbox"/> WebQUの結果データの活用の促進 <input type="checkbox"/> 校内と校外の教育支援センターの巡回による人的支援 <input type="checkbox"/> 児童生徒に寄り添う当別型複数指導体制の充実	<input type="checkbox"/> 地域と連携した体力向上の促進 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開の推進 <input type="checkbox"/> CS等の機能の更なる充実 <input type="checkbox"/> とべっこランチを活用した食育の推進 <input type="checkbox"/> 学習会やプログラミング教室等の多様な学びの提供

今年度の重点課題

- ① 部活動の地域展開
 - ・令和9年度完全移行
- ② ICT 端末の更新
 - ・当別デジタル教育 2nd ステージ
- ③ どうべつ未来学の推進
 - ・探究活動を通じたふるさと教育
- ④ 食育とべっこランチ
 - ・地元食材の活用促進

教育施設

とうべつ学園



※学校概況は8ページ

西当別小学校



※学校概況は10ページ

西当別中学校



※学校概況は12ページ

社会教育施設



※施設の詳細は21ページ

近年の取組状況

学校教育

とうべつ学園開校

- 施設一体型義務教育学校として開校（令和4年4月）
- 児童生徒数約430名、教職員数70名、道内有数の規模
- 9年間を「基礎期（1～4年）」「充実期（5～7年）」「発展期（8～9年）」に分け、児童生徒の発達段階に応じた教育を実施
- 義務教育学校の特色を生かした教育活動
 - ・一部教科担任制（理科、英語、音楽、図工、体育、家庭科等）
 - ・スポーツフェスティバル（運動会・体育祭）（1日日程で全学年参加）
 - ・学習発表会（1～6年） ・学園祭（5～9年）
 - ・縦割り班活動（1～4年） ・生徒会活動（5～9年）
 - ・5年生から部活動参加
- 道内外から約100件の視察受入
- 石狩管内課題研究発表会を実施（令和6年11月）



とうべつ学園校舎内



石狩管内課題研究発表会

特色ある教育活動

●独自教科「とうべつ未来学」の実施

ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「お米博士になろう」（小3） ※町内農家の協力の下、田植え・稲刈り体験等を通じて、基幹産業の稲作について学ぶ ※とうべつ学園は水田発祥の地で実習 ・「大豆博士になろう」（小4） ※種まき、収穫、豆腐作りを体験
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・町内事業所での職場体験学習（中2） ・とうべつ未来学講座（小5～中3） ※町にゆかりのある著名人による「将来の夢」をテーマとした講演授業 R講師：高木慶太氏（チェロ奏者） R講師：岡崎正治氏（テノール歌手）
国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデン交流センター訪問（小5） ※スウェーデンの文化を学習、クップ体験 ・JICA訪問授業・出前講座（小6・中1） ※海外の国々の文化や情勢等について学習



田植え体験



とうべつ未来学講座

●当別型複数指導体制

- ・加配教員や会計年度任用職員を学級の状況に応じて複数配置することで、教員の負担軽減とともに、多様な子どもたちに寄り添った指導や支援を実施
- ※主な会計年度任用職員
学力向上推進講師（各校2名）、
特別支援教育支援員（各校2名）、
外国人児童生徒支援員（とうべつ学園）

●姉妹都市交流

- ・町内3校と岩出山小・中で姉妹校締結（令和5年6月）
- ・町内3校と岩出山小・中がオンラインでつながり、給食を食べながら児童生徒間で交流（令和7年2月）



当別型複数指導体制

近年の取組状況

学校教育

教育のICT化



電子黒板を使用した授業

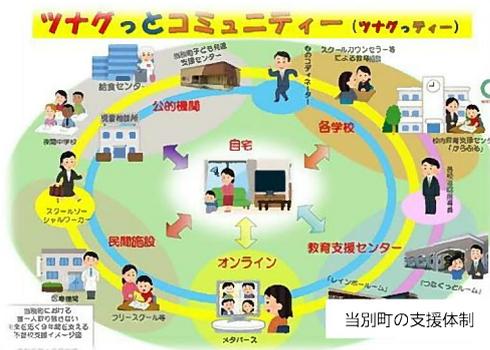
- 学校教育におけるICT環境整備（令和5年度～）
 - ・児童生徒の習熟度に応じた問題が出されるAIドリル「ミライシード」を全児童生徒に導入
 - ・電子黒板を町内全校の普通教室に整備
 - ・学校におけるICT活用を支援するための人材として「ICT支援員」を配置
 - ・児童生徒のデジタルリテラシー習得のため町内全校でネットモラル講演授業を実施



デジタル仕様の普通教室

学校環境の整備

- 町内全校にエアコンを整備（令和6～7年度）
 - ・近年の高温傾向を考慮し、教室、職員室等に設置
- 西当別小・中トイレを洋式化（令和4年度～）
 - ・洋式化率を管内他市町村並みの水準（約60%）に改善
- 西当別中旧パソコン室をデジタル仕様に改修（令和6年度）
 - ・普通教室の2倍以上のスペース
 - ・可動式の机椅子、前横3面のスクリーン、壁面一面のホワイトボードを設置
 - ・天井に備え付けられたプロジェクターにより、授業やプレゼンの資料が大画面で映る
 - ・一斉学習だけでなく、グループ別学習や同時複数のプレゼン発表など、様々なスタイルの学習形態に対応



当別町の支援体制

児童生徒が安心できる環境づくり

- いじめ、不登校、児童虐待など、児童生徒を巡る多様な問題に対応するため、町費でスクールソーシャルワーカー（現：心のコーディネーター）を配置（令和5年度～）
- 教室以外の児童生徒の居場所として、町内全校に校内教育支援センター「からふる」を設置（令和5年度～）
- 登校が難しい児童生徒の居場所として、西当別地区に教育支援センター「つなぐっとルーム」を設置（令和6年度）
- 学級経営に役立てるため、児童生徒の心理状況や学級内の人間関係等を客観的に把握できるWEBアンケート「WEBQU」を全児童生徒に導入（令和6年度）



教育支援センター「つなぐっとルーム」

食育の推進



とべっこランチ

- 当別町にゆかりのある食材や旬の食材を提供する特別給食「とべっこランチ」を月1回提供（令和5年度～）
 - 【とべっこランチ メニュー例】
 - ・調理員手作りのとんかつ・ハンバーグ（町内農場産の豚肉使用）
 - ・当別町産野菜の夏野菜カレー
 - ・スウェーデン料理（魚のスープ「フィスクソッパ」など）

※左写真：わかめご飯（米）、とべっこ汁（じゃが芋、玉ねぎ、にんにく）、豚肉のおろしソースかけ（豚肉）、南瓜のそぼろ煮（南瓜）、はちみつレモンゼリー【（ ）内は町産食材】

近年の取組状況

社会教育

生涯学習・地域協働

- 町立学校のコミュニティ・スクールの活動推進
 - ・ 委員向け研修会の開催、CS間の交流（令和6年度～）
 - ・ 地域課題解決に向けた委員間の熟議の活性化（外国籍住民との共生・交流等について議論）
- 「北海道CLASSプロジェクト」による当別高校活性化に向けた取組（令和3～5年度）
 - ・ 当別町の歴史・文化を知る授業
 - ・ フィールドワーク等を通じ、当別町が抱える課題を知り、解決に向けた方策を考える授業
 - ・ 当別高校の魅力を発信する授業
- 小学生～大学生が地域の課題や地域の未来について考える「TOWNミーティング」を実施
 - ・ 令和6年度のテーマは「当別町を住み続けたい町にするには？」



コミュニティ・スクール



TOWNミーティング

部活動の地域展開

- 総合型地域スポーツクラブを受け皿とした、部活動の地域展開を進行中
 - ・ 令和7年度に試行実施として、とうべつ学園剣道部を地域展開
 - ・ 令和9年度を目途に、全ての部活動の地域展開を目指す



とうべつ学園剣道部の地域展開

文化公演事業

- 町民が文化・芸術に親しむ機会の創出のために実施（令和6年度～）
- 令和6年度は2件開催
 - ・ 岡崎 正治 氏（テノール歌手）・石橋 克史 氏（ピアニスト）・武川 奈穂子 氏（ハープ奏者）によるコンサート
 - ・ 川上 天馬 氏によるエレクトーンライブ



文化公演事業

プログラミング教室

- 将来を担う児童生徒の育成として、新たな社会に適応できる人材を育成するために、早い段階からプログラミング技術等を習得することを目的として、主に小学生を対象に実施（令和4年度～）



プログラミング教室

社会教育施設の整備

- 西当別コミュニティーセンターを指定管理化（令和7年度）

令和7年度の教育 目次

【 巻頭 】

- 1 教育大綱
- 2 教育基本計画
- 3 教育推進計画
- 4 グランドデザイン
- 5 教育施設
 - ① とうべつ学園
 - ② 西当別小学校
 - ③ 西当別中学校
 - ④ 社会教育施設
- 6 近年の取組状況
 - ① 学校教育
 - ② 社会教育

【 教育計画 ・ 予算 】

- 1 学力向上プラン …………… 1
- 2 体力向上プラン …………… 2
- 3 コミュニティ・スクール(CS) …… 3
- 4 教育予算 …………… 4

【 学校教育 】

- 1 重点目標 …………… 7
- 2 現況
 - (1) 学級数及び児童生徒・教職員数 …… 7
 - (2) 学校概況
 - ① とうべつ学園 …………… 8
 - ② 西当別小学校 …………… 10
 - ③ 西当別中学校 …………… 12
- 3 学校給食 …………… 14
- 4 保護者支援制度
 - (1) 就学援助 …………… 15
 - (2) 特別支援教育就学奨励費 …… 16
 - (3) 特別支援学級等通学援助費 …… 16

【 社会教育 】

- 1 重点目標 …………… 17
- 2 事業
 - (1) 生涯学習推進事業 …………… 17
 - (2) 読書活動推進事業 …………… 18
 - (3) 生涯スポーツ推進事業 …… 19
- 3 学校教育との連携事業 …… 20
- 4 社会教育施設
 - (1) コミュニティセンター・文化施設等 21
 - (2) 体育施設 …………… 22

【 教育委員会 】

- 1 教育委員会
 - (1) 教育長及び教育委員 …… 23
 - (2) 令和7年度活動予定 …… 24

【 資料 】

- 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務 25
- 2 教育委員会事務局 職員一覧 …… 26
- 3 教育委員会の附属機関等 …… 27
 - (1) 当別町教育支援委員会
 - (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織
 - (3) 当別町いじめ問題調査委員会
 - (4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師
 - (5) 当別町学校給食センター運営委員会
 - (6) 当別町学校運営協議会
 - (7) 当別町文化財調査審議会
 - (8) 当別町社会教育委員会
 - (9) 当別町地域学校協働本部運営委員会
 - (10) 当別町子ども読書活動推進委員会
 - (11) 当別町スポーツ推進委員

4	教育関係各種団体	32
	(1) 当別町文化協会 加盟団体	
	(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体	
	(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体	
	(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体	
5	指定文化財一覧	34
6	教育の沿革	35
7	統計データ	41
	(1) 小中学校施設の概況	
	(2) 児童生徒数の推移	
	(3) 各学校統合年の一覧	
	(4) 就学援助の状況	
	(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
	(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
	(7) 社会教育施設利用状況	

※本冊子における用語は、次のとおりとする。

小学校・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）を含む。

中学校・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）を含む。

小学生・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）に通う児童を含む。

中学生・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）に通う生徒を含む。

小学1～6年生・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）を含む。

中学1～3年生・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）を含む。

教育計画・予算

1	学力向上プラン	P 1
2	体力向上プラン	P 2
3	コミュニティ・スクール（CS）	P 3
4	教育予算	P 4

●当別町の学力の状況（令和6年度「全国学力・学習状況調査」平均正答率）

	国語	算数／数学
小学校	70.0%（全国平均以上）	62.0%
中学校	55.0%	52.0%

成果

- 小学校国語で全国平均を上回る
- 平均正答率30%以下の児童生徒が少ない
- 小学校で家庭学習習慣が定着している
- 小学校で無解答率が低い
- 記述式問題への対応が進んでいる
- ICTの活用が進んでいる

課題

- 中学校で無解答率が高い傾向にある
- 家庭学習習慣の定着・授業改善の取組をいっそう進めること
- 朝食を食べる習慣や適切なスクリーンタイムなど、規則正しい生活習慣の定着させること
- 挑戦心、自己有用感等を高めること

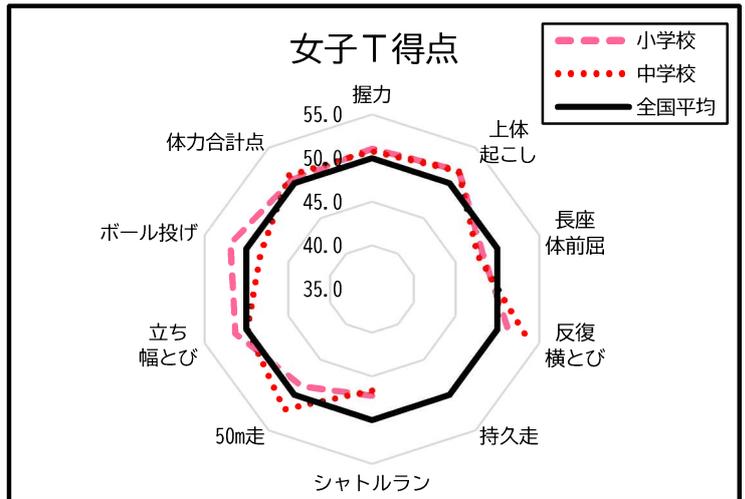
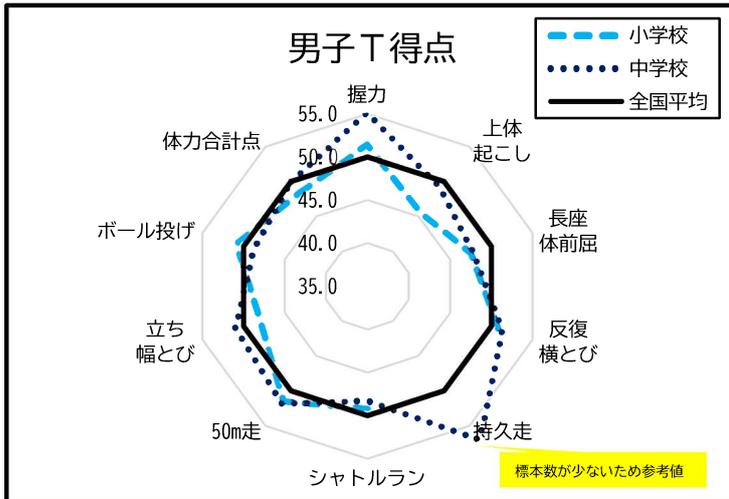
課題へのアプローチ

- 対話を重視した授業への転換
- 一人一台端末を活用した多様な学び
- AIドリル、ICT機器の利活用
- とうべつ未来学における探究活動の充実
- 家庭学習の拡充・習慣化
- 全ての児童生徒の発達を支える指導

R7年度 目標

「全国学力・学習状況調査」全教科全国平均以上

●当別町の体力の状況 (令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果)



成果	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校女子、中学校男子・女子の体力合計点が全国・全道平均を上回った ●体育授業の改善に取り組んだことにより、体育は楽しい、できたりわかったりすることがいつもあると感じている児童生徒の割合が増加した ●体育授業におけるICTの活用が進んでいる ●運動意欲が高い児童生徒が多い ●体育授業以外で積極的に運動に取り組む児童生徒が多い
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校男子で、運動が苦手な児童が多い (体力の総合評価がD・Eの児童が、全体の46%) ●小学生男子で、運動習慣が定着していない児童生徒が多い (1週間の運動時間(体育授業除く)が60分未満の児童生徒が、全体の23%) ●生活習慣に課題のある児童生徒が多い (朝食を毎日食べていない児童生徒が、全体の24%) (平日のスクリーンタイムが5時間以上の児童生徒が、全体の21%) <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">➔運動習慣、生活習慣に課題</p>
----	--

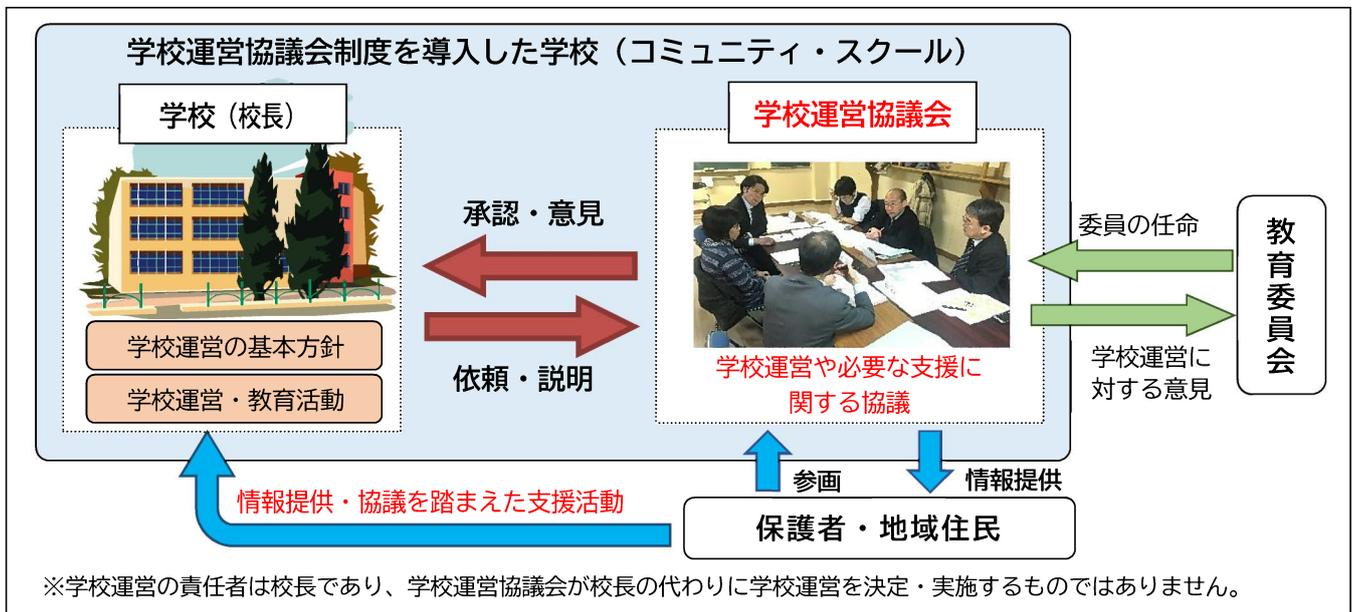
課題へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的にICTを活用した授業改善の推進 ●生活習慣改善に向けた家庭への啓発 ●教職員向け研修機会の充実 ●児童生徒向けスポーツ活動の継続実施 ●部活動・総合型地域スポーツクラブへの支援 ●地域と連携した体力向上の促進
-----------	--

R7年度目標	<p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 体力合計点全道平均以上</p>
--------	--

➤ 3 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校＝学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育9年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育9年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

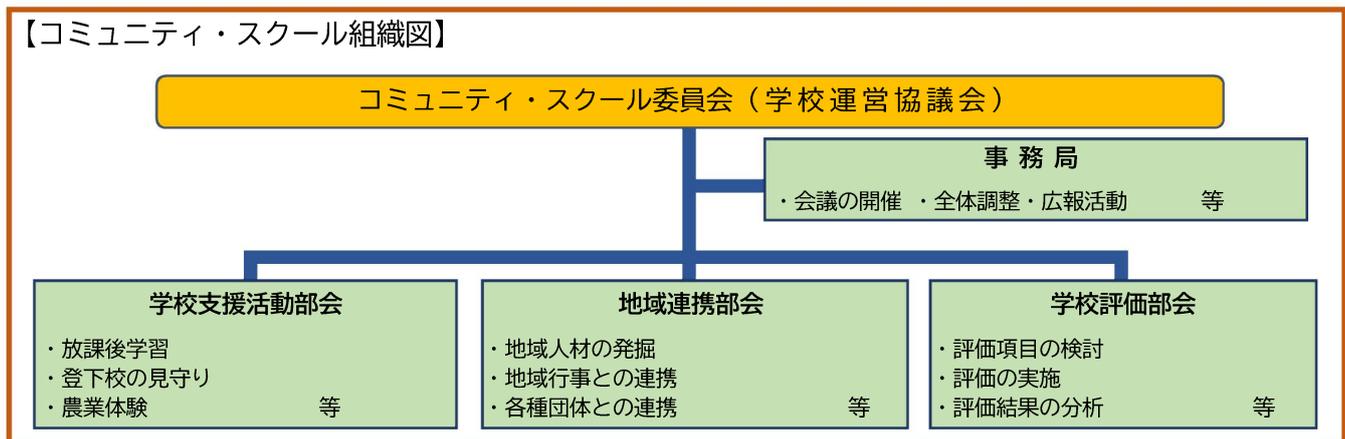
当別町では、平成29年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として、以下の3点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

基本的な活動

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【委員数】令和7年5月1日現在
当別地区 10名
西当別地区 13名

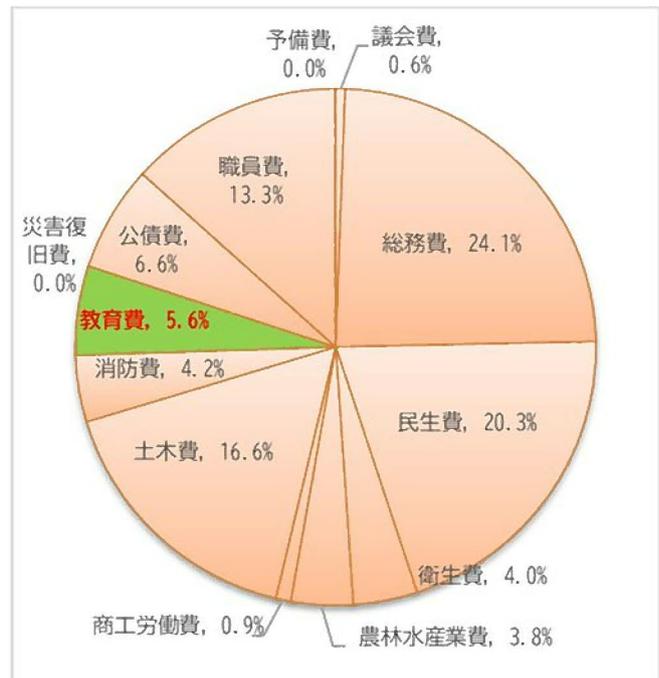
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 4 教育予算

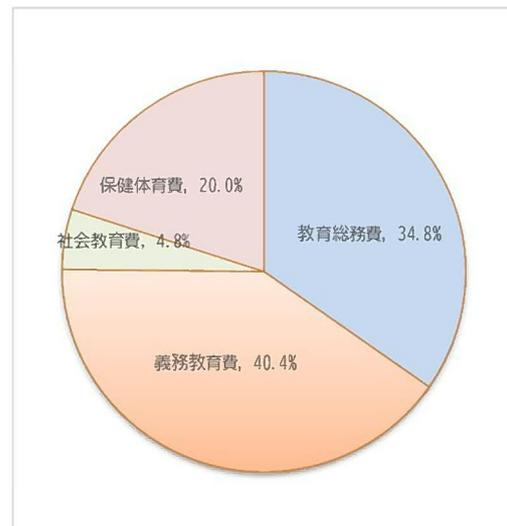
(1) 令和7年度 一般会計当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
議会費	81,926	0.6
総務費	3,349,828	24.1
民生費	2,820,271	20.3
衛生費	553,989	4.0
農林水産業費	535,648	3.8
商工労働費	129,809	0.9
土木費	2,312,959	16.6
消防費	580,480	4.2
教育費	776,664	5.6
災害復旧費	5	0.0
公債費	918,948	6.6
職員費	1,848,062	13.3
予備費	5,000	0.0
歳出合計	13,913,589	100.0



(2) 令和7年度 教育費当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	269,971	34.8
義務教育費	313,878	40.4
社会教育費	37,641	4.8
保健体育費	155,174	20.0
総額	776,664	100.0



(3) 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
令和 3年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4
令和 4年度	13,567,556	▲10.0	1,512,424	▲48.2	11.1
令和 5年度	13,404,221	▲1.2	955,657	▲36.8	7.1
令和 6年度	12,550,546	▲6.4	734,987	▲23.1	5.9
令和 7年度	13,913,589	10.9	776,664	5.7	5.6

※各年度当初予算額

(4) 主な事業

【学校教育課所管】

学校給食費物資高騰対策事業（新規）（6,305千円）

食材等の物価高騰が続くなか、学校給食栄養摂取基準を充たし、安心・安全な学校給食を維持していくため、給食材料費の補填を行う。

GIGAスクール（1人1台端末）更新事業（新規）（75,225千円）

令和2年度に導入した1人1台端末について、導入から5年が経過し更新時期を迎えていることから、新たに整備を行う。

学校施設改修事業（継続）（62,023千円）

西当別小学校の会議室を改修し、普通教室として活用可能な教室を確保するとともに、同校及び西当別中学校のトイレについて、洋式化改修を行い、学校施設の環境改善を図る。

当別型複数指導体制の実施（継続）（50,511千円）

教科指導や困り感を抱える児童生徒の支援に携わる会計年度任用職員を複数名配置し、児童生徒に寄り添った学習支援を行うことで、教育課程を通じた資質・能力の確実な育成と定着を図る。

【社会教育課所管】

文化公演事業（継続）（1,200千円）

多くの町民が、音楽、演劇等の本格的な舞台芸術に触れる機会の充実を図ることにより、文化振興による豊かなまちづくりを進める。

社会体育施設等指定管理事業（継続）（69,712千円）

社会体育施設等（総合体育館、白樺コミュニティセンター、とうべつ学園水泳プール）の指定管理対象施設に、西当別コミュニティセンターを追加し、民間の専門的なノウハウを活かして更なる住民サービスの向上を図る。

学校部活動地域展開推進事業（新規）（9,490千円）

子どもたちが将来にわたってスポーツ活動等に親しむことができる体制を整備するため、学校部活動を一部種目において地域クラブ化し、部活動地域展開の実証事業を行う。

とうべつ学園水泳プール改修工事（新規）（43,000千円）

安心安全に利用できる公共施設維持管理のため、老朽化した水泳プールろ過装置等の改修を実施する。

学 校 教 育

1	重点目 標	P 7
2	現 況	
(1)	学級数及び児童生徒・教職員数	P 7
(2)	学 校 概 況	
①	とうべつ学園	P 8
②	西当別小学校	P10
③	西当別中学校	P12
3	学 校 給 食	P14
4	保護者支援制度	P15

➤ 1 重点目標

一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 現況

(1) 学級数及び児童生徒・教職員数

令和7年5月1日現在

学校名	学級数		児童生徒数（人）									教職員数（人）					
	普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	
1 西当別小学校	8	5	33	36	32	47	35	26	13	222	1	1	18	1	1		
2 西当別中学校	4	2	28	46	36				6	116	1	1	12	1	2		
3	とうべつ学園（前期課程）	12	4	50	38	44	42	43	43	16	276		1	28	1	1	1
	とうべつ学園（後期課程）	6	3	51	44	45				4	144	1	1	16	1	1	
合計	30	14							38	757	3	4	73	4	5	1	

※加配事業による教職員の配置（上記教職員数の内数）

加配事業名	西当別小学校	西当別中学校	とうべつ学園（前期課程）	とうべつ学園（後期課程）	合計
指導方法工夫改善	1	1			2
通級指導			4	1	5
主幹教諭	0.5	0.5			1
専科指導（理科）				1	1
専科指導（小中一貫）				1	1
日本語指導			2		2
事務職員		1			1
合計	1.5	2.5	6	3	13

(2) 学校概況

<h1 style="margin: 0;">とうべつ学園</h1> （義務教育学校）																	
校章・所在地	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>【校章の意味】 中心の花は「亜麻の花」を表現。とうべつ学園の「と」を「T」にも見えるようにデザインし、当別の「当」の字で丸く囲むよう配置。「知」「徳」「体」「絆」「夢」を星に込め、学問の象徴でもあるペンで表現。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">〒061-0205 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760</p>																
校歌	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: top;"> 四 雲雀東風吹かるるかすみ草 梟飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷 </td> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: top;"> 三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら </td> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: top;"> 二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけぐる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷 </td> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: top;"> 一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">作曲</td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">作詞</td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">作曲</td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">作詞</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">高木 慶太</td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">西下 航平</td> <td></td> </tr> </table>	四 雲雀東風吹かるるかすみ草 梟飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷	三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら	二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけぐる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷	一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心	作曲	作詞	作曲	作詞		高木 慶太	西下 航平					
四 雲雀東風吹かるるかすみ草 梟飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷	三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら	二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけぐる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷	一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心														
作曲	作詞	作曲	作詞														
	高木 慶太	西下 航平															
沿革の概要	<p>【母 体】 当別小学校及び当別中学校の統合</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成30年 基本構想策定</td> <td style="width: 50%;">令和 6年 石狩管内学校課題研究発表会開催</td> </tr> <tr> <td>令和 元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年 校名決定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施設計策定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校舎建設工事（～令和4年2月）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校章制定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年 校歌制定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年 とうべつ学園開校</td> <td></td> </tr> </table>	平成30年 基本構想策定	令和 6年 石狩管内学校課題研究発表会開催	令和 元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置		2年 校名決定		実施設計策定		校舎建設工事（～令和4年2月）		校章制定		3年 校歌制定		4年 とうべつ学園開校	
平成30年 基本構想策定	令和 6年 石狩管内学校課題研究発表会開催																
令和 元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置																	
2年 校名決定																	
実施設計策定																	
校舎建設工事（～令和4年2月）																	
校章制定																	
3年 校歌制定																	
4年 とうべつ学園開校																	
教育目標	<p style="text-align: center;">夢と志を持ち 希望に満ちた未来を拓く子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 高い志と確かな学力をはぐくむ （知） ◇ 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ （徳） ◇ たくましい身体と心をはぐくむ （体） 																
経営の重点	<p>【基本方針】 子どもが学習の主体者となり、未来を生きるために必要な資質・能力を獲得する学校づくり</p> <p>【学校経営の重点】</p> <p>①学校組織マネジメントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の共有による学校運営参画意識の向上 ・PDCAによる成果の共有 ・働き方改革の推進 <p>②義務教育9年間をつなぐ教育課程の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた既存にとらわれない計画 ・迅速かつ柔軟な計画 <p>③授業改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業観の転換 ・ミドルリーダーを中心とした組織的な校内研修 																
研究主題	<p style="text-align: center;">《 研 究 主 題 》</p> <p style="text-align: center;">「未来の創り手を担う児童生徒の育成」～資質・能力を確実に育む授業づくりを通して～</p>																

特色ある教育活動	<p>1 系統性・連続性を踏まえた生活・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実を図る。 ・校務分掌に支援教育部を設置し、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。 <p>2 日常的な異学年交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な縦割り班活動、地域や異校種との交流を通じて、豊かな人間性や社会性を培う。 <p>3 4・5・6年生における一部教科担任制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な教科指導の充実による学力の向上を促す。 ・多くの指導者のかかわりによる、きめ細かい指導と児童生徒の多面的な理解の促進を図る。 <p>4 5年生からの児童生徒会活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生から児童生徒会活動に参加し、協力して課題を解決し、自分たちの手でよりよい学校をつくろうとする自主的・実践的な態度を育てる。 <p>5 5年生からの部活動の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生から部活動に参加可能とし、スポーツや文化芸術等に親しもうとする態度を養う。 ・後期課程での本格的な部活動開始に向けた基本的技能や基礎的体力の向上を図る。 <p>6 英語教育の全学年実施</p> <p>7 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施</p>																																																																	
学級編制	<p style="text-align: right;">令和7年5月1日現在</p> <p>(前期課程)</p> <table border="1" data-bbox="256 1077 1348 1261"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12 <4></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>26 (2)</td> <td>21 (2)</td> <td>24 (3)</td> <td>19 (1)</td> <td>22 (1)</td> <td>16 (2)</td> <td>128 (11)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>24 (2)</td> <td>17 (1)</td> <td>20 (0)</td> <td>23 (0)</td> <td>21 (1)</td> <td>27 (1)</td> <td>132 (5)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50 (4)</td> <td>38 (3)</td> <td>44 (3)</td> <td>42 (1)</td> <td>43 (2)</td> <td>43 (3)</td> <td>260 (16)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(後期課程)</p> <table border="1" data-bbox="256 1339 912 1523"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>7年</th> <th>8年</th> <th>9年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6 <3></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25 (2)</td> <td>22 (0)</td> <td>21 (1)</td> <td>68 (3)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>26 (0)</td> <td>22 (1)</td> <td>24 (0)</td> <td>72 (1)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51 (2)</td> <td>44 (1)</td> <td>45 (1)</td> <td>140 (4)</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="943 1285 1430 1601" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>基礎期（1～4年生） 「基礎基本の確実な習得」</p> <p>充実期（5～7年生） 「目標の設定と自ら学ぶ態度の育成」</p> <p>発展期（8・9年生） 「自分の人生をデザインする力の育成 ～夢の実現へ～」</p> </div> <p>※ ()～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>	男子	26 (2)	21 (2)	24 (3)	19 (1)	22 (1)	16 (2)	128 (11)	女子	24 (2)	17 (1)	20 (0)	23 (0)	21 (1)	27 (1)	132 (5)	合計	50 (4)	38 (3)	44 (3)	42 (1)	43 (2)	43 (3)	260 (16)	学年	7年	8年	9年	合計	学級数	2	2	2	6 <3>	男子	25 (2)	22 (0)	21 (1)	68 (3)	女子	26 (0)	22 (1)	24 (0)	72 (1)	合計	51 (2)	44 (1)	45 (1)	140 (4)
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計																																																											
学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>																																																											
男子	26 (2)	21 (2)	24 (3)	19 (1)	22 (1)	16 (2)	128 (11)																																																											
女子	24 (2)	17 (1)	20 (0)	23 (0)	21 (1)	27 (1)	132 (5)																																																											
合計	50 (4)	38 (3)	44 (3)	42 (1)	43 (2)	43 (3)	260 (16)																																																											
学年	7年	8年	9年	合計																																																														
学級数	2	2	2	6 <3>																																																														
男子	25 (2)	22 (0)	21 (1)	68 (3)																																																														
女子	26 (0)	22 (1)	24 (0)	72 (1)																																																														
合計	51 (2)	44 (1)	45 (1)	140 (4)																																																														
教職員	<p style="text-align: right;">令和7年6月1日現在</p> <p>校長 桂川 淳 教頭（前期課程） 砂原 史朗 （後期課程） 加藤 隆司</p> <p>教職員数 主幹教諭1名 教諭43名 助教諭1名 養護教諭2名 栄養教諭1名 事務職員2名 時間講師1名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員2名 特別支援学級介助員1名 事務嘱託員2名 学校管理人2名 学習指導員1名 校内支援教育支援員 1名 外国人児童生徒支援員1名 スクールサポートスタッフ2名 ALT2名、スクールカウンセラー1名</p>																																																																	

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地
 電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇石山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稻の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

- | | | | |
|---------------|---|-------------------------|---|
| <p>昭和 26年</p> | <p>獅子内小学校・太美小学校が合併して
西当別小学校設立
新校舎落成・移転
校章制定</p> | <p>平成 22年</p> | <p>当別町青少年善行賞受賞
(リングブル・エコキャップ収集)
当別町 140 年記念パレード見学、
記念式典参加 (5年生)</p> |
| <p>27年</p> | <p>西当別小学校校歌制定</p> | <p>23年</p> | <p>大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付</p> |
| <p>32年</p> | <p>校舎増築、屋内体育館完成</p> | <p>24年</p> | <p>J R 電化祝賀式典参加</p> |
| <p>36年</p> | <p>開校 10 周年記念式挙行</p> | <p>26年</p> | <p>西当別地区プレイハウスが西当別
小学校内へ移転</p> |
| <p>46年</p> | <p>開校 20 周年記念式挙行</p> | <p>27年</p> | <p>電子黒板・書画カメラ設置</p> |
| <p>48年</p> | <p>増築校舎完成 (理科室・準備室、視聴覚室、
放送室、保健室)</p> | <p>28年</p> | <p>一貫教育推進講師配置
(西当別中学校と兼務)</p> |
| <p>50年</p> | <p>北海道小中学校放送教育研究大会開催</p> | <p>29年</p> | <p>J I C A 研修員学校訪問
(アフリカ諸国より)</p> |
| <p>56年</p> | <p>開校 30 周年記念式・祝賀会</p> | <p>30年</p> | <p>レクサンド市教育委員会視察団訪問
小中一貫教育開始
旧校舎屋根改修工事
西当別コミュニティスクール開始</p> |
| <p>57年</p> | <p>新校舎完成 (普通教室 4・音楽室・理科室)</p> | <p>令和 元年</p> | <p>全国いじめ問題子どもサミット参加
授業改善推進チーム活用事業開始
体育館屋根改修工事
当教研学校課題研究発表会開催</p> |
| <p>58年</p> | <p>新体育館落成式・祝賀会</p> | <p>2年</p> | <p>体育館照明、トイレ、玄関改修工事
木質バイオマスボイラー設置工事
校内 LAN 設備改修、児童一人1台端末配置</p> |
| <p>62年</p> | <p>開校記念日指定・祝賀会</p> | <p>3年</p> | <p>石狩管内教育実践奨励表彰受賞</p> |
| <p>平成 元年</p> | <p>グラウンド改修工事</p> | <p>4年</p> | <p>開校 70 周年記念品作成</p> |
| <p>3年</p> | <p>高岡小学校を本校へ統合</p> | <p>5年</p> | <p>中央玄関、東児童玄関および、1・2
階中央トイレ改修工事</p> |
| <p>6年</p> | <p>増築校舎落成式・祝賀会</p> | <p>6年</p> | <p>当教研学校課題研究発表会開催
屋上キュービクル、放送設備及び中央
玄関前花壇改修工事</p> |
| <p>7年</p> | <p>プレハブ校舎 4 教室完成</p> | <p>電子黒板 (ビッグパッド) 配置</p> | <p>教室、職員室にエアコン設置</p> |
| <p>8年</p> | <p>増築校舎完成式
(普通教室 8・音楽室・図工室)
学校給食開始</p> | | |
| <p>9年</p> | <p>「たんぼぼ学級」設置</p> | | |
| <p>13年</p> | <p>新学校教育目標制定
開校 50 周年記念式・祝賀会</p> | | |
| <p>14年</p> | <p>視聴覚室改修</p> | | |
| <p>15年</p> | <p>児童図書管理コンピューター化</p> | | |
| <p>16年</p> | <p>ハマナス 50 本植樹 (朝日新聞社より寄贈)</p> | | |
| <p>18年</p> | <p>文部科学省指定の「小中連携事業」
開始 (2 か年)</p> | | |
| <p>19年</p> | <p>国際理解教育開始 (ALT との学習)
J I C A 研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)</p> | | |

教育目標	◇ 心ゆさぶる感性 〈心〉 ・のびのび語り合う子 ◇ 学びを求める知性 〈学び〉 ・ぐんぐん学び合う子 ◇ 生き方を磨く個性 〈生き方〉 ・もりもりきたえ合う子 [平成13年3月改定]																																								
経営の重点	★対話を重視した授業の推進 ★ICTの有効活用 ★学校種間の連携強化 ★自己肯定感を高める教育活動の充実 ★児童の発達を支える指導の充実																																								
研究主題	≪ 西当小の使命 ≫ 「意欲が溢れ、子どもが輝く自立した「学びの場」の充実」 ≪ 研究主題 ≫ 「自他を大切に、主体的に学び合う子どもの育成」																																								
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学力向上推進講師の活用（理科、英語） ・ICT機器（クローズドブック等）を活用した授業改善の推進 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合的な学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年生「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあいタイム」 ・明るい挨拶が積極的にできるよう「あいさつ運動」を児童会が主体的に計画運営する ・「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動 ・6年生の中学校登校、授業体験、部活動体験 ・小中合同いじめ撲滅集会など合同行事の開催 7 教科担任制の実施 8 英語教育の全学年実施 9 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施 																																								
学級編制	<p style="text-align: right;">令和7年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9 <5></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>19 (1)</td> <td>19 (1)</td> <td>17 (2)</td> <td>32 (1)</td> <td>17 (2)</td> <td>10 (4)</td> <td>114 (11)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>14</td> <td>17 (1)</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>18 (1)</td> <td>16</td> <td>95 (2)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33 (1)</td> <td>36 (2)</td> <td>32 (2)</td> <td>47 (1)</td> <td>35 (3)</td> <td>26 (4)</td> <td>209 (13)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ()～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	1	2	1	2	1	1	9 <5>	男子	19 (1)	19 (1)	17 (2)	32 (1)	17 (2)	10 (4)	114 (11)	女子	14	17 (1)	15	15	18 (1)	16	95 (2)	合計	33 (1)	36 (2)	32 (2)	47 (1)	35 (3)	26 (4)	209 (13)
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計																																		
学級数	1	2	1	2	1	1	9 <5>																																		
男子	19 (1)	19 (1)	17 (2)	32 (1)	17 (2)	10 (4)	114 (11)																																		
女子	14	17 (1)	15	15	18 (1)	16	95 (2)																																		
合計	33 (1)	36 (2)	32 (2)	47 (1)	35 (3)	26 (4)	209 (13)																																		
教職員	<p style="text-align: right;">令和7年5月1日現在</p> <p>校長 湯沼 史朗 教頭 星野 麻耶</p> <p>教職員数 主幹教諭1名 教諭17名 養護教諭1名 事務職員1名 学力向上推進講師2名 時間講師1名 特別支援教育支援員2名 特別支援学級介助員1名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 ALT2名、スクールカウンセラー1名</p>																																								

西 当 別 中 学 校

(小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く
 夕映えの 広さほたり
 厳かしく 立派な学び舎
 西当別 われらの心象とて

二 緑なす 森の梢に
 先人の 功徳ひつ
 集い合う 若人われら
 西当別 われらの心象とて

三 涼風は 垂穂こそよみ
 行く水は 広野つるほす
 豊けしや みのりの里わ
 西当別 われらの心象とて

四 大いなる 恵の朝
 われら今 光を受けて
 踏み分けん 真の長道
 西当別 われらの心象とて

沿革の概要

昭和 22年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に	平成 16年	全道ソフトボール大会3位
23年	校章制定、独立校舎落成	17年	新教育目標設定
25年	高岡分校設置	18年	全道ソフトボール大会3位
26年	旧校歌制定		18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校
31年	体育館落成	19年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
32年	開校10周年式典	20年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
38年	高岡分校独立	21年	モンゴル国教育視察団訪問
42年	開校20周年式典	22年	E S D日米教員交流団来校 体育館耐震改修工事
43年	高岡中学校統合	23年	当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
46年	町プール校地に設置	25年	体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事
49年	スクールバス運行	26年	校務用生徒用パソコン更新
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	27年	電子黒板・書画カメラ設置
52年	開校30周年式典	29年	小中一貫教育開始 開校70周年
54年	体育館落成	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加
56年	新校舎落成記念式典	31年	部活動後援会設立
57年	校舎落成記念植樹 グラウンド完成	令和 元年	町150年記念事業プレイベント参加 新型コロナウイルスのため臨休(4/11~5/31)
平成 4年	学校週5日制開始	2年	木質チップボイラー工事 校内LAN設備改修、生徒一人1台端末 拠点校方式部活動開始
8年	学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(個人)	4年	全日本吹奏楽コンクール予選参加
9年	開校50周年式典・スウェーデン訪問	5年	電子黒板導入
11年	全道剣道大会3位(個人)	6年	エアコン設置・マルチルーム改修
12年	増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)		
13年	特殊学級設置・10学級編制		
14年	全道新体操準優勝(個人)		
15年	全道新体操優勝、準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、

- ◇ 高い知性 <知>
- ◇ 強い意志 <徳>
- ◇ 健やかな体 <体>

を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

<p>経営の方針と重点</p>	<p><経営の方針></p> <p>(1) [確かな学力の保障] →生徒それぞれの進路選択・実現に向けた確かな学力の定着と更なる向上を図る。</p> <p>(2) [安全・安心・いじめ「0」] →生徒に寄り添い、安全に安心して学ぶ、積極的な認知によるいじめ「0」の学校づくり。</p> <p>(3) [合理的配慮] →生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導や支援を遂行する柔軟な対応と体制。</p> <p>(4) [社会に開かれた教育課程] →家庭・地域と共に学びを創る地域資源を活用して連携・協働する教育活動の推進。</p> <p>(5) [TEAM西当中] →教育者としての使命感と責務を自覚した機動的で効率的な協働組織体制による学校経営。</p> <p><教育推進の重点></p> <p>『自己調整力を育み、生徒の良さと可能性を導く教育』</p> <p>(1) 自ら学ぶ主体性を導き共に学びを深める授業づくり</p> <p>(2) 友達や仲間と共に高め合う協働性を培う学級づくり</p> <p>(3) より良く生きる公共心と自己有用感を育む教育活動</p>																									
<p>研究主題</p>	<p>≪ 研究主題 ≫</p> <p>『主体的に学習に取り組み、自らの考えを表現できる生徒の育成』 ～ 単元デザインの工夫と自己調整力の育成を通して ～</p>																									
<p>特色ある教育活動</p>	<p>(1) 小中一貫教育の推進</p> <p>①学びをつなぐ（9年間を見通した学びの連続性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の連続性（育成を目指す資質・能力を共有した教育課程の編成） ・規律の連続性（学習、生活のきまり等、発達段階に応じて） <p>②人をつなぐ（児童生徒・教職員の交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒交流（いじめ撲滅集会：小5～中3） ・小6児童の中学校登校（授業体験、部活動体験、中学校生活体験） ・小6児童のキャリア教育（入学説明会含む） <p>(2) とうべつ未来学の推進</p> <p>○ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育の充実</p>																									
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和7年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4 <2></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>15(0)</td> <td>23(2)</td> <td>14(1)</td> <td>52 (3)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>13(0)</td> <td>23(2)</td> <td>22(1)</td> <td>58 (3)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28(0)</td> <td>46(4)</td> <td>36(2)</td> <td>110 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ()～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	1	2	1	4 <2>	男子	15(0)	23(2)	14(1)	52 (3)	女子	13(0)	23(2)	22(1)	58 (3)	合計	28(0)	46(4)	36(2)	110 (6)
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	1	2	1	4 <2>																						
男子	15(0)	23(2)	14(1)	52 (3)																						
女子	13(0)	23(2)	22(1)	58 (3)																						
合計	28(0)	46(4)	36(2)	110 (6)																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和7年5月1日現在</p> <p>校長 森 聰 教頭 吉川 広樹</p> <p>教職員数 主幹教諭1名 教諭11名 養護教諭1名 事務職員2名 時間講師1名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 ALT1名 スクールカウンセラー1名</p>																									

➤ 3 学校給食

(1) 学校給食の役割

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事の提供をすることにより、健康の増進や正しい食習慣・食文化についての学び、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につけるなど大切な学びの場です。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○ 栄養バランスのとれた豊かな学校給食 | ○ 望ましい食習慣を形成する学校給食 |
| ○ 人間関係を豊かにする学校給食 | ○ 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食 |

(2) 食育の推進（栄養教諭による授業・指導）

地場産食材を活用し、伝統食や季節の行事食を提供することにより、子供たちが地域を知り産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。また、栄養教諭による学年に応じた授業を通して、食に関する知識や意識を学び「食事の重要性」の理解と関心を深めます。

(3) 給食費（令和5年4月改定）

区分	実施回数（回）	一食単価（円）	年額（円）
小学校	1年	183	48,678
	2年	190・191	50,540・50,806
	3年	191	52,143
	4年	191	52,143
	5年	187・190	52,173・53,010
	6年	190	53,010
中学校	1年	182	61,698
	2年	187・189	63,393・64,071
	3年	181・182	61,359・61,698

(4) 学校給食センターの運営

① 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

《委員構成》教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 《委員任期》2年

②調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス（株）へ委託 《業務従事者》28名

(5) 施設概要

区 分	概 要
名 称	当別町学校給食センター
所 在 地	石狩郡当別町若葉 2224 番地
建 設 年 度	平成 7 年 5 月着工
開 設	平成 8 年 1 月（平成 7 年度 3 学期）
敷 地 面 積	3,625.00 m ² （1,096.56 坪）
建 物 面 積	1,098.12 m ² （332.18 坪）
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部 2 階建
調理場区分	共同調理場
厨 房 方 式	ドライシステム
調 理 能 力	最大 3,000 食/日
廃 水 処 理	回転円板方式
厨 芥 処 理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386 千円
実 施 状 況	1 日最大提供食数 842 食（令和 7 年 5 月現在）

➤ 4 保護者支援制度

(1) 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

≪内訳（令和7年度支給額）≫

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	57,060	63,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品
新入学児童生徒 学用品費等	1年	57,060	63,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受給した場合は対象外
学用品費(学) 通学用品費(通) 校外活動費(校)	1年	(学) 11,630	(学) 22,730	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費並びに校外活動に参加するために必要な交通費及び見学料
	2年	(学) 11,630 (通) 2,270 (校) 実費	(学) 22,730 (通) 2,270	
	3年		(校) 実費	
	4年			
	5年			
	6年			
体育実技用具費	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー用具） 小1・4年、中1年のみ
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費
卒業アルバム代等		11,000	10,000	通常制作する卒業アルバム及び卒業記念写真等の購入費 小6年、中3年のみ
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

(2) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

《内訳（令和7年度上限額）》

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	28,530	31,500
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1～3年、4～6年、中1～3年の 各期間に1回まで	スキー	13,255	19,015
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

(3) 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

社 会 教 育

1	重点目標	P17
2	事業	
(1)	生涯学習推進事業	P17
(2)	読書活動推進事業	P18
(3)	生涯スポーツ推進事業	P19
3	学校教育との連携事業	P20
4	社会教育施設	
(1)	コミュニティーセンター・文化施設等	P21
(2)	体育施設	P22

➤ 1 重点目標

ひとりひとりの学力向上と子どもの未来保障

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 事業

(1) 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
ことぶき大学	5月～3月 (全21講座)	白樺コミセン ゆとろ等	60歳以上 の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
北海道医療大学 連携講座	8月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当別町文化祭	11月1日 ～11月3日	西当別コミセン	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
文化公演事業	12月	町内施設	町民	音楽、演劇等の本格的な舞台芸術に触れる機会の充実を図る。
歴史学習講座	5月～3月 (年11回)	白樺コミセン	町民	当別町の古文書の解読により、当別町開拓の歴史を学ぶ。
プログラミング教室	8月	西当別支所	小学生等	早い段階からプログラミング技術等を習得する機会を設け、論理的に物事を思考する力や創造性・問題解決能力の育成を図る。

(2) 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
ブックスタート	10ヶ月児健診時	ゆとろ	10ヶ月児健診を受診する親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	7月	各小学校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味・関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡回図書	5月～1月	認定こども園 ゆとろ 各小・中学校 プレイハウス 等	幼児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書館の新規購入図書を認定こども園、ゆとろ、各小中学校、プレイハウス等へ巡回し貸し出しを行う。
図書修繕	4月～3月 月1回	図書館	町民	ボランティアの協力により、破損した図書の修繕を行う。
学校図書館支援活動	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書館の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
読書週間	(春) 4月1日 ～ 4月30日 (秋) 10月1日 ～ 11月30日	図書館	町民	おすすめ本の展示会、古本市等を実施し、読書の楽しさと大切さを感じ、読書活動の推進を図る。
POPコンテスト	7月4日 ～8月31日	図書館 白樺コミセン 西当別コミセン	幼児 小学生 中学生	本のPOPづくりをコンテスト形式で実施し、図書館への興味関心を高め、読書活動の推進を図る。

(3) 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学校開放事業	4月1日 ～3月31日	各小・中学校 体育館 グラウンド	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
小中学生のスポーツ大会参加事業助成	4月～3月		小学生 中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4月～3月 毎月いずれかの日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、アリーナの無料開放を行う。
青少年スポーツの時間	不定期 土曜日 9時～12時	総合体育館 西当別コミセン	町内の 小・中・ 高校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、アリーナの無料開放を行う。

➤ 3 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
土曜教室 (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	様々な体験活動や郷土学習、異年齢交流を通して学習する楽しさを伝える。
放課後学習会 (地域学校協働本部事業)	4月～3月	各小・中学校	小学生 中学生	学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
イングリッシュ・プロジェクト (地域学校協働本部事業)	6月～11月 (年8回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生 中学生 高校生 町民	様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、異文化の理解を図る。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	11月～12月	白樺コミセン	町内の 小・中・ 高校生、 北海道医 療大学生	町の課題に向き合うことにより社会の一員としての資質と自覚を高める。
少年の意見発表会	2月7日	ゆとろ	町内の 小・中・ 高校生	日常生活での体験や考えを自己の言葉で表現することにより社会参加意識の形成を図る。また、大人に対し少年への理解を深めてもらう機会とする。
学校部活動 地域展開 推進事業	4月～3月	町内施設	小学生 中学生	学校部活動の地域展開に向けて、地域おこし協力隊制度やスポーツ庁実証事業を活用し、地域クラブ活動の運営体制整備を進める。

➤ 4 社会教育施設

(1) コミュニティーセンター・文化施設等

白樺コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1	電話	0133-23-2511	FAX	0133-23-2516
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室				

西当別コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理 [令和 7 年 4 月 1 日開始]

所在地	石狩郡当別町太美町 22 番地 7	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	アリーナ、図書館分館、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室				

当別町学習交流センター

所在地	石狩郡当別町錦町 1248 番地 7	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	図書館、歴史資料室		

当別町図書館“ふくろう図書館”

所在地	当別町学習交流センター内	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）		

当別町図書館西当別分館

所在地	西当別コミュニティセンター内	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 10 時～午後 9 時（カウンター受付は午後 5 時まで）				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）				

世紀会館

所在地	石狩郡当別町園生 57 番地 8	電話	0133-23-2896
開館時間	午前 9 時～午後 10 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	洋室、集会室、和室		

当別伊達記念館・伊達邸別館

施設概要	明治 4 年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鍬が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治 13 年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。				
所在地	石狩郡当別町元町 105 番地	電話	0133-22-3735		
開館時間	午前 10 時～午後 4 時 30 分				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）				
料金	無料				

(2) 体育施設

①屋内施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館 ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所在地：石狩郡当別町白樺町 2792 番地 施設概要：アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 問合せ先：0133-22-3833

②屋外施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	所在地：石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 施設概要：バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	所在地：石狩郡当別町元町 1119 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	所在地：石狩郡当別町元町 1119 番地 3（阿蘇公園内） 施設概要：土俵 1 面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	所在地：石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 施設概要：全天候型コート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	所在地：石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 施設概要：クレーコート 4 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
とうべつ学園水泳プール ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所在地：石狩郡当別町元町 102 番地 施設概要：25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6 月～9 月（月曜日、8/15・16 は休館） 利用時間：10 時～12 時、13 時～20 時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	所在地：石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	所在地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	所在地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	所在地：石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 施設概要：オムニコート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター

教育委員会

1 教育委員会

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 教育長及び教育委員 | P23 |
| (2) 令和7年度活動予定 | P24 |
-

➤ 1 教育委員会

(1) 教育長及び教育委員

【 教育長 】

令和7年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日就任 [1期]

【 教育委員 】

令和7年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [4期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [4期]
委 員	佐々木 成 尉	平成29年11月 1日就任 [2期]
委 員	大 畑 理 恵	令和 5年12月15日就任 [1期]

【 歴代 教育長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初 代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2 代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3 代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4 代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5 代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6 代	有 澤 槇 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7 代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8 代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9 代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 令和 4年 9月30日
11代	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日 ~ 現在

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

(2) 令和7年度活動予定

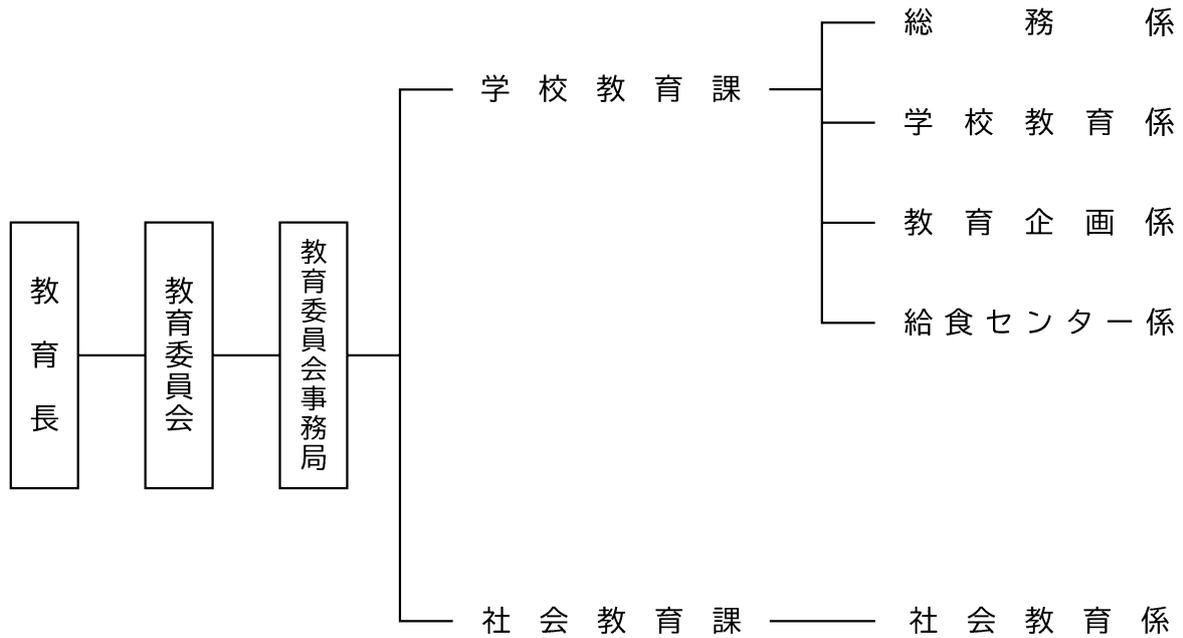
活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
令和7年 第5回定例会	令和 7年 4月23日	役場会議室	
第6回定例会	令和 7年 5月28日	役場会議室	
第7回定例会	令和 7年 6月25日	役場会議室	
北海道市町村教育委員会研修会	令和 7年 7月17日	札幌市	
第8回定例会	令和 7年 7月22日	役場会議室	
第9回定例会	令和 7年 8月27日	役場会議室	
第10回定例会	令和 7年 9月24日	役場会議室	
第11回定例会	令和 7年10月22日	役場会議室	
石狩管内教育委員会委員研修会	令和 7年10月31日	新篠津村	
第12回定例会	令和 7年11月26日	役場会議室	
第13回定例会	令和 7年12月17日	役場会議室	
令和8年 第1回定例会	令和 8年 1月14日	役場会議室	
第2回定例会	令和 8年 2月18日	役場会議室	
第3回臨時会	令和 8年 3月 日	役場会議室	開催日未定
第4回定例会	令和 8年 3月25日	役場会議室	

* このほか、必要に応じて教育委員会臨時会及び研修会を実施します。

資 料

1	教育委員会組織図及び各課の分掌事務	P25
2	教育委員会事務局 職員一覧	P26
3	教育委員会の附属機関等	P27
4	教育関係各種団体	P32
5	指定文化財一覧	P34
6	教育の沿革	P35
7	統計データ	P41
	(1) 小中学校施設の概況	
	(2) 児童生徒数の推移	
	(3) 各学校統合年の一覧	
	(4) 就学援助の状況	
	(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
	(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
	(7) 社会教育施設利用状況	

➤ 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



【学校教育課】

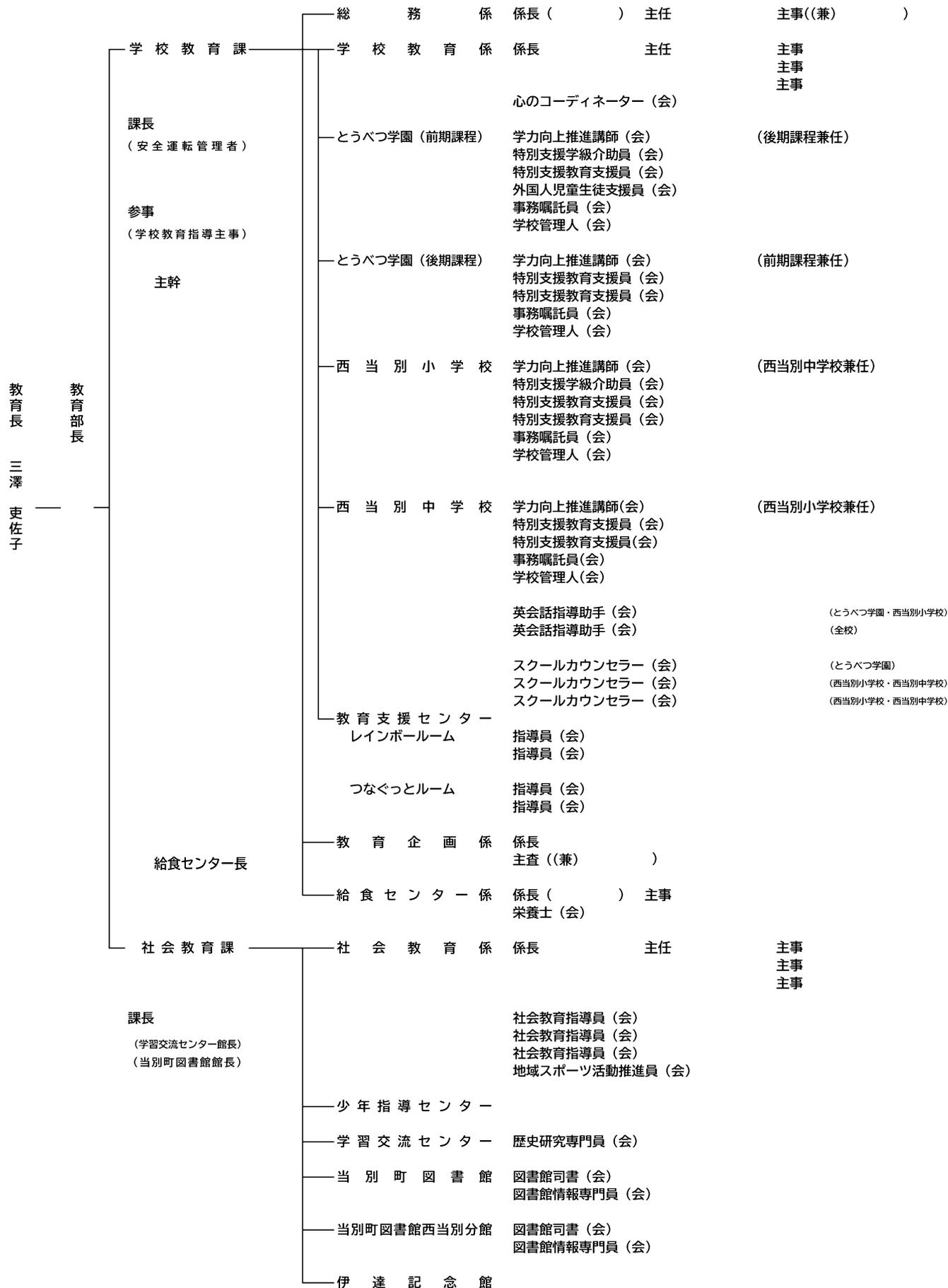
- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

➤ 2 教育委員会事務局 職員一覧

(令和7年7月1日現在)



合計 62名

注：職名(会)～会計年度任用職員

➤ 3 教育委員会の附属機関等

各委員：令和7年6月2日現在

(1) 当別町教育支援委員会（附属機関）

教育支援委員会委員			
氏名	選任区分	職 業	所 属
前田 史郎	第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック
桂川 淳	第2号委員	学識経験者	当別町立とうべつ学園
森 聰	第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別中学校
千田 冬威	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
小倉 陽介	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
山本 拓哉	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
畠山 謙	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
永間 尊史	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
小柳 華奈子	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
石谷 優樹	第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校
荒 厚子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町福祉部保健福祉課
吉田 友恵	第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園おとぎのくに
砂田 敦子	第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園当別夢の国幼稚園
佐井川 友美	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター
教育支援委員会専門委員			
千田 冬威		特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
小倉 陽介		特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
山本 拓哉		特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
畠山 謙		特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
永間 尊史		特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園
小柳 華奈子		特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
佐井川 友美		児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター

[任期] 令和7年5月1日～令和9年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員			
氏名	選任区分	職 業	所 属
永井 康義		特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
千田 冬威		特別支援学級設置校教職員	当別町立とうべつ学園
畠山 謙		特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校

特別支援教育専門家委員			
氏名	選任区分	職 業	所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
菅原 博子	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
齊藤 真善	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校

[任期] 令和7年5月1日～令和9年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会（附属機関）

氏名	分野	職能区分	所属
山谷 敬三郎	教育	生涯学習	北翔大学
縄野 歩	法律	弁護士	札幌弁護士会
濱本 琢	医療	精神科医	江別すずらん病院
佐藤 祐基	心理	臨床心理士	北星学園大学 社会福祉学部心理学科
福間 麻紀	福祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 令和6年5月1日～令和8年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内科医		耳鼻科医	眼科医
とうべつ学園 （前期課程）	1～3年	前田 史郎	伊藤 順一	小林 和夫
	4～6年	古明地 克英		
西当別小学校	全学年	藤田 朋紀	東山 佳澄	
とうべつ学園 （後期課程）	全学年	澤崎 兵庫	伊藤 順一	
西当別中学校	全学年	三宅 のえる	東山 佳澄	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯科医		薬剤師
とうべつ学園 （前期課程）	1～4年	齊藤 正人	片岡 芳仁
	5年	田西 和伸	
	6年	黒澤 遠奈	
西当別小学校	1～2年	相良 昌宏	田西 幸江
	3～6年	三浦 宏子	
とうべつ学園 （後期課程）	全学年	飯嶋 雅弘	片岡 芳仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠司	田西 幸江
	3年	相良 昌宏	

[任期] 令和7年4月1日～令和8年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会（附属機関）

職名	氏名	選任区分
委員長	森 聰	教職員
副委員長	星野 麻耶	教職員
委員	佐藤 純代	教職員
委員	上田 常裕	教職員
委員	原田 亜由子	保護者
委員	和島 朋広	保護者
委員	小林 彩華	保護者
委員	田西 幸江	学識経験者
委員	島田 恭子	学識経験者
委員	館柳 律子	学識経験者

[任期] 令和5年12月22日～令和7年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会（附属機関）

氏名	区分		備考
【当別地区】			
松岡宏尚	第1号委員	地域住民	委員長
長谷部直樹	第1号委員	地域住民	副委員長
難波雅美	第1号委員	地域住民	
津崎弘樹	第1号委員	地域住民	
山田直也	第1号委員	地域住民	
大石和彦	第1号委員	地域住民	
鰐淵真太郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
後藤尚範	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
小松芳幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
米陀和成	第4号委員	その他必要と認めるもの	郵便局長
【西当別地区】			
山田佳秀	第1号委員	地域住民	委員長
佐々木健児	第1号委員	地域住民	副委員長
大坪圭子	第1号委員	地域住民	
小貫幸恵	第1号委員	地域住民	
曾川昭治	第1号委員	地域住民	
佐々木彦治	第1号委員	地域住民	
柳田隆	第1号委員	地域住民	
吉野裕宜	第1号委員	地域住民	
石田秀人	第1号委員	地域住民	
中田綾子	第1号委員	地域住民	
岸本進嗣	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
宮本隆幸	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
近藤弘隆	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員

[任期] 令和7年5月1日～令和9年4月30日

(7) 当別町文化財調査審議会（附属機関）

職名	氏名	選任区分
会長	鎌田 望	学識経験者
副会長	梅枝 正春	学識経験者
委員	倉田 守	学識経験者
委員	渡部 泰夫	学識経験者
委員	大口 弘美	学識経験者

[任期] 令和5年12月20日～令和7年12月19日

(8) 当別町社会教育委員会（附属機関）

職名	氏名	選任区分
委員長	浜上 尚也	学識経験者
副委員長	潟沼 史朗	学校教育関係者
委員	近藤 留美	社会教育関係者
委員	曾川 昭治	社会教育関係者
委員	伊藤 美穂子	社会教育関係者
委員	小竹 泰斗	社会教育関係者
委員	佐藤 太一郎	家庭教育活動者
委員	後藤 尚範	家庭教育活動者
委員	川合 秋夫	学識経験者

[任期] 令和7年4月24日～令和9年4月23日

(9) 当別町地域学校協働本部運営委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	浜上 尚也	学識経験者
副委員長	潟沼 史朗	学校教育関係者
委員	近藤 留美	社会教育関係者
委員	曾川 昭治	社会教育関係者
委員	伊藤 美穂子	社会教育関係者
委員	小竹 泰斗	社会教育関係者
委員	佐藤 太一郎	家庭教育活動者
委員	後藤 尚範	家庭教育活動者
委員	川合 秋夫	学識経験者

[任期] 令和7年4月24日～令和8年4月23日

(10) 当別町子ども読書活動推進委員会

職名	氏名	所属
委員	潟沼 史朗	学識経験者
委員	瀬能 実紀	当別町福祉部子ども未来課
委員	寺田 美由紀	認定こども園おとぎのくに
委員	加藤 裕弓	認定こども園当別夢の国幼稚園
委員	大場 さおり	とうべつ学園
委員	弥勒院 瑞枝	西当別小学校
委員	小柳 華奈子	西当別中学校
委員	井田 洋佑	当別町教育委員会学校教育課
委員	富士本 亜希子	とうべつ学園よみきかせ隊

[任期] 令和7年6月2日～令和9年5月31日

(11) 当別町スポーツ推進委員（附属機関）

職名	氏名	分担事項
委員長	浜上尚也	スキー、サイクリング
副委員長	伊藤美穂子	水泳、テニス、水泳指導者
委員	野口和之	ゴルフ、パークゴルフ
委員	石澤ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール
委員	日光正博	スキー、パークゴルフ、バレーボール
委員	中多美幸	ミニバレー
委員	栄木龍也	サッカー、軽スポーツ
委員	菅野敬正	陸上、トライアスロン
委員	須藤豪	サッカー
委員	武田雅子	バドミントン、陸上
委員	新井和也	サッカー、スキー
委員	池田友洋	ボッチャ、フライングディスク
委員	藤田和宏	野球、銃剣道
委員	瀬戸綾乃	バスケットボール、ソフトボール
委員	阿部奈々	カーリング

[任期] 令和6年5月1日～令和8年4月30日

▶ 4 教育関係各種団体

(1) 当別町文化協会 加盟団体

令和7年6月1日現在

区 分	団 体 名
民謡	當香会 民謡の部
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場
琴	大正琴さくら 琴の会
舞踊	西川流 日本舞踊教室 延菊会
	正派菊乃流 菊の会 当別
	ひょっとこ踊り 玉福
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ
	子どもの為のジャズダンスサークル SKIP
	ダンスグループDDD
	アロハフラーズ
	花舞
	ハーラウ・フラ・オ・モハラプア・マイル
音楽	当別町カラオケ連合会
	太美カラオケ愛好会
	東裏カラオケ愛好会
	當香会 カラオケの部
	当別クローバーの会
	レディース・ハーモニー
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ
	音遊工房ふとみボーカル・グループ
	バンド「ふとみ愉快的仲間たち」
	エーデルワイス
	オカリナサークルふくふく
郷土芸能	当別音頭を守る会
	とべのすけ すずめ踊り隊
茶華道	当別華道連盟
	当別裏千家茶道同好会
	西当別茶道教室
書道絵画	西当書道会
	太美書道教室
生活文化	当別写真同好会
	スエタ手芸教室
	ぽかゆるたいむ
	太美ヨガサークル
	日本棋院当別支部
	パッチワークオンリーワン
	いきいき健美操
	あむ・ぬう・いとサークル
文芸	当別短歌会
合計 39 団体	

(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体

令和7年6月1日現在

協会・連盟名	
陸上競技協会	スキー連盟
軟式野球連盟	サッカー連盟
バレーボール協会	相撲国技会
弓道連盟	卓球協会
テニス協会	バスケットボール協会
バウンドテニス協会	剣道連盟
ミニバレー協会	柔道連盟
パークゴルフ協会	
合計 15 団体	

(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和7年6月1日現在

地区名
白樺町
北栄町
アウル
西町
元町
緑町
春日町
太美北
太美南
当別太ビトエ川下
虹の子
スウェーデンヒルズ
スターライト
合計 13 地区

(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和7年6月1日現在

所 属
生活改善実践グループ
当別音頭を守る会
合計 2 団体

➤ 5 指定文化財一覧

令和7年5月1日現在

指定番号	品名	種別	指定・登録年月日	所在場所	摘要
1	伊達綱宗画筆三幅対	有形文化財	S50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗(寛永17(1640)年生～正徳元(1711)年没)が、66才の時(宝永2(1705)年)画いたもので伊達正人が明治25(1892)年三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたものの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鴛鴦 【縦214cm 横60.5cm】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年)冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定)冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緞公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家5代村緞公(宝永4(1707)年生～寛永元(1748)年没)が着用したものの。 (長ばかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着)及び帯	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家9代義監公(文化6(1809)年生～)が着用したものの。
7	陣羽織	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家10代邦直公(天保5(1834)年生～明治24(1891)年没)が着用したものの。
8	火事装束	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
9	子供用綿入れ(2組)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家11代基理公(文久2(1862)年生～)が着用したものの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
11	当別開拓の図	有形文化財	S50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたものの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦68cm 横110.5cm】
12	伊達邸別館	有形文化財	S51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45(1970)年、当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。
14	トウバツアカマツセイウチ化石	有形文化財	R4.2.16	札幌市 北海道大学総合博物館	絶滅した初期のセイウチ科の化石で、時代は中新世後期で約1,000～950万年前。昭和52(1977)年に当別川流域で発見された。この時代のセイウチ科の化石は記録が少なく、セイウチ科の進化の空白を埋める貴重な標本である。

➤ 6 教育の沿革

年号	できごと
明治5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改称
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
37年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
38年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
39年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
40年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
41年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
42年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
43年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
44年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
45年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
46年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
47年	・二級町村から一級町村へ昇格
48年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
49年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
50年	・二股小学校が二股教育所として創立
51年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
52年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
53年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
54年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
55年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
56年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
57年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
58年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
59年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
60年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
61年	・札沼線当別一札幌間開通
62年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
63年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
64年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
65年	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
66年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
67年	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
68年	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
69年	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
70年	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
71年	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年号	できごと
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回当別町成人式挙行 ・当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子内小学校全焼 ・太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	<ul style="list-style-type: none"> ・二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・当別町教育目標を設定し公表
35年	<ul style="list-style-type: none"> ・材木沢小学校を当別小学校材木沢分校に移行
37年	<ul style="list-style-type: none"> ・材木沢分校校舎が風雪害により倒壊、翌年、新校舎落成（現：上当別会館）
38年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	<ul style="list-style-type: none"> ・町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・当別町青少年問題協議会発足 ・当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・材木沢分校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用）
41年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	<ul style="list-style-type: none"> ・四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・伴静江奨学金運営委員会発足 ・当別町中学校発足20周年記念式典挙行
43年	<ul style="list-style-type: none"> ・青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	<ul style="list-style-type: none"> ・開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等） ・当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	<ul style="list-style-type: none"> ・三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	<ul style="list-style-type: none"> ・四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	<ul style="list-style-type: none"> ・青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町社会教育指導員設置

年号	できごと
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町中学校発足30周年記念式典挙行 当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付） 当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡） 当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） 青山中央小中学校新校舎完成
53年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室） 中小屋中学校新校舎完成
54年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町体育協会創立20周年記念式典挙行 当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m） 当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡） 当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）
56年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m） 当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）
57年	<ul style="list-style-type: none"> 当別ロータリークラブ奨学金制度発足 当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m） 当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡） 当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示） 伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）
59年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町教育奨励賞制定 当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）
60年	<ul style="list-style-type: none"> 当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）
62年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町スポーツ賞制定
63年	<ul style="list-style-type: none"> 当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）
平成元年	<ul style="list-style-type: none"> 金沢小学校を閉校し当別小学校に統合 当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム） 当別町体育協会創立30周年記念式典挙行
2年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）
3年	<ul style="list-style-type: none"> 当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合 各中学校に英会話指導助手（ALT）を配置 当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置） 当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園
4年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面） 当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他） 学校週5日制スタート
5年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町学校体育施設開放事業開始
6年	<ul style="list-style-type: none"> 当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場） 当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）
7年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始） 少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8年	<ul style="list-style-type: none"> 中小屋小学校が火災により焼失
9年	<ul style="list-style-type: none"> 西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室） 当別町中学校開校50周年記念式開催
10年	<ul style="list-style-type: none"> 中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）
11年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町生涯学習推進計画策定 当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）
12年	<ul style="list-style-type: none"> 青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始） 当別町青山中央プール廃止
13年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町適応指導教室設置 学校評議員制度開始 当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町子ども議会開催 当別町歴史ボランティア設置

年号	できごと
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度） ・伴静江奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第2プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16年	<ul style="list-style-type: none"> ・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・青山交流館休止 ・当別町文化賞制定
18年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始
19年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町弁華別プール廃止 ・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設 ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20年	<ul style="list-style-type: none"> ・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始 ・当別町学校支援地域本部事業開始
21年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行 ・第3次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定 ・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事 ・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
23年	<ul style="list-style-type: none"> ・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別小学校体育館落成（工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下） ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で2学期制を導入 ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転

年 号	で き ご と
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> 当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕 弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧
25年	<ul style="list-style-type: none"> 「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 西当別中学校教員住宅解体 当別小学校北校舎トイレ改修工事 当別中学校トイレ改修工事 西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 西当別中学校給水設備改修工事
26年	<ul style="list-style-type: none"> 第4次当別町生涯学習推進計画策定 教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設 土曜学習会の開始 西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転 西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修
27年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町いじめ防止基本方針策定 当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 当別町子ども発達支援センター完成 当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定 家読の日を制定（毎月23日） 町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施 放課後学習会の開始 文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）
28年	<ul style="list-style-type: none"> 弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合 弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合 当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入 教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管 教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設 当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置 各中学校へデジタル教科書導入（国、数、理、社、英） 町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大） 西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸）
29年	<ul style="list-style-type: none"> 銜鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修 中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校） 当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置 当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足 「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞 西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根） 各小学校の3～6年生へデジタル教科書導入（国語、算数）
30年	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会管理課を学校教育課に改称 西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計費4,644千円） 当別町一体型義務教育学校基本設計（37,962千円） 小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応） I C T機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町一体型義務教育学校地質調査業務委託（15,660千円） 当別町一体型義務教育学校測量業務委託（5,886千円） 西当別小学校屋内体育館改修工事（33,761千円） 町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園 教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称 当別町義務教育学校開校準備委員会及び教育課程編成委員会設置 当別町一体型義務教育学校実施設計（128,700千円）
2年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町図書館及び西当別分館設置 当別町一体型義務教育学校建設工事（建設・電気・機械）（4,684,900千円） 当別町一体型義務教育学校建設工事監理業務委託（77,000千円） 当別町一体型義務教育学校建設損失補償調査業務委託（5,236千円） 西当別中学校校舎屋上防水工事（12,650千円） 当別町教育系ネットワークシステム端末購入（65,098千円） 当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（50,930千円） 当別町教育系ネットワークシステム端末付属品購入（6,826千円） 校務系ネットワークシステム構築業務委託（69,300千円） 家庭用モバイルルーター購入（2,176千円） 当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（その2）（354,000千円） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国で一斉臨時休業（3～5月）

年 号	で き ご と
令和3年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用情報機器貸出、家庭学習用通信機器貸出開始 ・学校給食費の公会計化 ・北海道CLASSプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）実施（～令和5年度） ・保育支援者配置補助事業の実施 ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）実施 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）（136,950千円）
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・とうべつ学園備品購入（校用 45,353千円、教材 19,923千円）、既存備品移送運搬・備付（4,070千円） ・「トウベツアカマツセイウチ化石」の当別町有形文化財指定 ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」完成（2月） ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」引き渡し（3月） ・当別小学校、当別中学校統合による閉校（3月） ・義務教育学校「とうべつ学園」開校（4月） ・子どもプレイハウス民間委託開始 ・「学びのハンドブック」を保護者に配布（4月） ・鈴木直道北海道知事がとうべつ学園を訪問（4月） ・とうべつ学園見学会開催（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（グラウンド整備）（190,872千円） ・当別中学校解体工事（511,500千円） ・当別町総合体育館屋上防水改修工事（126,500千円） ・とうべつ学園開校記念式典（11月）
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・成人年齢引き下げに伴い、成人式を「はたちのつどい」と改称して開催 ・教育委員会学校教育課一貫教育係が教育企画係に改称 ・特別給食「とべっこランチ」提供開始 ・とうべつ学園内に校内適応指導教室（令和6年度から校内教育支援センター）「からふる」を設置 ・「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、「デジタル教育推進事業」を実施（A Iドリルの導入、電子黒板の導入、児童生徒向けプログラミング教室の実施、情報モラル教育の実施、ICT支援員の派遣） ・倉本博史北海道教育委員会教育長がとうべつ学園を訪問（5月） ・町立学校と岩出山小学校・岩出山中学校が姉妹校締結（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事事業損失調査業務委託（11,440千円） ・西当別中学校屋内体育館外壁改修工事（1,540千円）
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室を教育支援センターに改称 ・西当別コミュニティセンター内に教育支援センター「つなぐっとルーム」を設置 ・西当別小学校・西当別中学校に校内教育支援センター「からふる」を設置 ・文化公演事業「秋の饗宴 テノールとハープ♪ ピアノのタベ」「川上天馬エレクトーンライブ」開催 ・大崎市・当別町姉妹校提携交流事業「給食交流」を実施 ・西当別小・中学校エアコン設置工事（94,160千円） 普通教室・職員室等にエアコンを設置 ・西当別中学校マルチルーム改修工事（3,080千円） 旧パソコンルームをデジタル仕様に改修

➤ 7 統計データ

(1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	武道場 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
西当別小学校	RC	4,381	702		15,789	昭和57年	昭和58年
西当別中学校	RC	3,869	678		28,749	昭和55年	昭和54年
とうべつ学園	RC	9,361	2,293	428	43,310	令和4年	令和4年

※RC：鉄筋コンクリート造

(2) 児童生徒数の推移

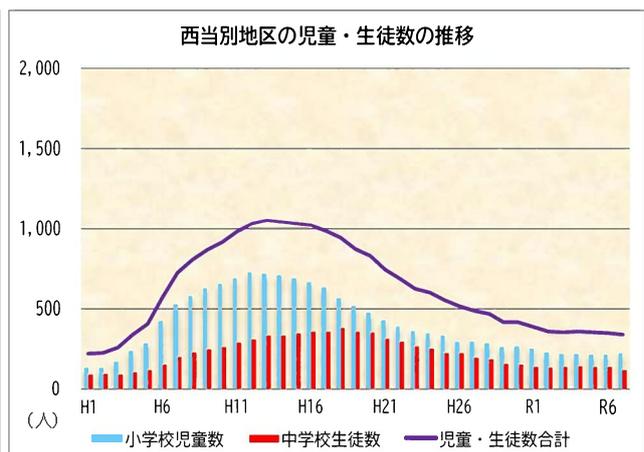
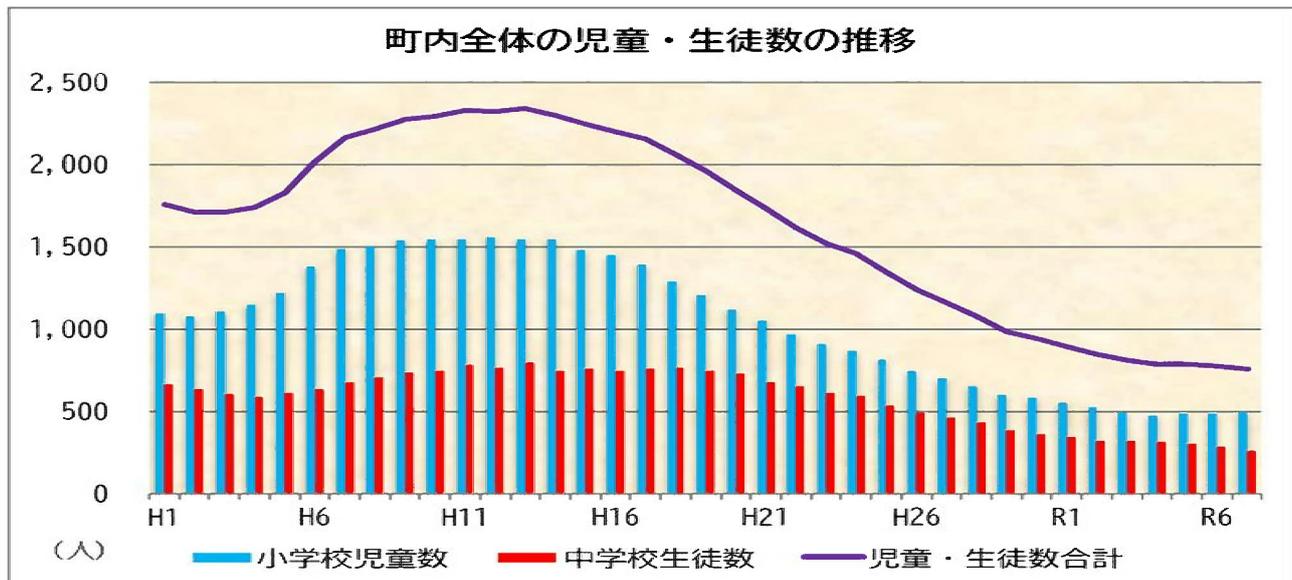
◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R3	78	67	73	87	82	105	492
4	82	77	70	77	87	81	474
5	77	85	81	73	81	90	487
6	79	80	92	82	77	79	489
7	88	79	81	91	83	75	497

◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
R3	112	93	115	320
4	106	113	93	312
5	79	107	113	299
6	95	85	106	286
7	81	95	84	260

各年5月1日現在（単位：人）



(3) 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

学校名		設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 小 学 校	西当別小	S26		
	太美小	M29	S26	
	獅子内小	M33	S26	
	当別高岡小	M34		H3

◆ 中学校

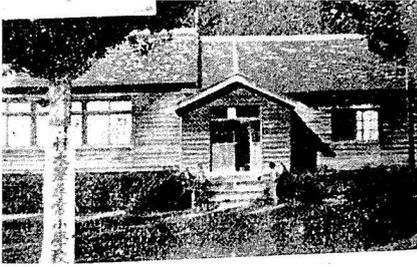
学校名		設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 中 学 校	西当別中	S22		
	当別高岡中	S25	S43	

◆ 義務教育学校

学校名		設置年	統 合 年 一 覧	
当別小	M 6			
東裏小	M35			H20
蕨岱小	M44			H19
中小屋小	M33			H18
川下小	M37			H16
金沢小	M32		H1	
材木沢小 (分校)	T 4	S40		
弁華別小	M25			H28
青山小	M34		S50	
青山中央小	M34			H12
二股小	M41		S50	
四番川小	M42		S48	
三番川小	M42		S46	
当別中	S22			
中小屋中	S22			H17
弁華別中	S22			H28
青山中央中	S22			H12
二股中	S28		S48	
三番川中	S28		S46	
四番川中	S22		S42	

R4
とうべつ学園

【統合校の思い出】



材木沢小学校



三番川小中学校



四番川小中学校



青山小学校



二股小中学校



金沢小学校



当別高岡小中学校



青山中央小中学校



川下小学校



中小屋中学校



中小屋小学校 (上:旧校舎 下:新校舎)



藤岱小学校



東裏小学校



弁華別小学校



弁華別中学校



当別小学校 (昭和 47 年までの校舎)



当別小学校 (現存校舎)



当別中学校

(4) 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	新小学校 1年生	9	486	271
小学校	79	5,972	5,311	4,195
新中学校 1年生	19	1,140	882	882
中学校	50	5,560	5,877	5,921
計		13,159	12,341	11,455

* 平成29年度から翌年度の新小学校・新中学校1年生に新入学準備金を支給。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	小学校	9	350	323
中学校	1	42	304	307
計	10	393	627	744

(6) 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	小学校	50	282	239
中学校	6	36	76	120
計	56	318	315	367

(7) 社会教育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室1	和室2・3	計	
R4	件数	169	8	546	183	147	43	1,096
	人数	1,533	109	5,486	2,276	755	408	10,567
R5	件数	195	15	629	175	149	43	1,206
	人数	1,993	168	7,636	2,319	778	245	13,139
R6	件数	239	14	584	190	165	47	1,239
	人数	3,006	339	6,345	2,938	846	510	13,984

西当別コミュニティセンター

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	計	
R4	件数	1,035	340	193	156	14	229	1,967
	人数	14,442	6,521	1,887	2,144	215	1,252	26,461
R5	件数	874	380	248	125	22	219	1,868
	人数	14,752	7,296	2,182	1,664	170	1,191	27,255
R6	件数	929	379	266	192	52	255	2,073
	人数	15,151	7,930	2,829	1,598	383	1,528	29,419

当別町図書館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R4	11,231	10,463	21,694	3,798	636	4,434	11,839	8,613	20,452
R5	11,144	7,517	18,661	4,292	440	4,732	12,524	8,986	21,510
R6	10,104	7,556	17,660	3,418	503	3,921	13,154	9,397	22,551

当別町図書館西当別分館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R4	9,522	9,729	19,251	3,674	491	4,165	9,319	7,949	17,268
R5	8,773	8,460	17,233	3,772	544	4,316	9,444	8,230	17,674
R6	10,330	9,527	19,857	4,108	812	4,920	9,699	8,509	18,208

世紀会館

年度\区分	洋室	集会室A	集会室B	和室	計	
R 4	件数	32	103	56	1	192
	人数	162	720	345	5	1,232
R 5	件数	15	119	70	0	204
	人数	85	832	455	0	1,372
R 6	件数	11	108	66	2	187
	人数	56	750	397	9	1,212

当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
R 4	1,263
R 5	1,229
R 6	1,230

当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
R 4	件数	929	212	197		1,338
	人数	30,093	3,441	1,670	6,159	2,317
R 5	件数	873	260	222		1,355
	人数	31,191	5,001	1,921	8,871	3,132
R 6	件数	858	276	173		1,307
	人数	36,857	5,103	2,754	11,576	3,822

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

令和7年度
当別町の教育

令和7年7月発行

編集・発行：当別町教育委員会



未来を拓く9年間



当別町小中一貫教育